

平成 27 (2015) 年度 「吹田市幼小中一貫教育」 推進事業

# 古江台中学校区幼小中一貫教育研究報告集



平成 28 (2016) 年 3 月

古 江 台 幼 稚 園

古 江 台 小 学 校

津 雲 台 小 学 校

古 江 台 中 学 校

目 次

■ 古中ブロック校園長挨拶	1
■ 年間の活動内容	3
■ 幼小中連携通信「JOINT」N0.29、30、31	4
■ 古中ブロック推進委員会報告「ジョイント+++プラス」	10
■ 連携部会(7/29夏季合同研修分科会)報告	21
■ 古中ブロック公開授業指導案	26
■ 事務連携部会	46
■ 「言語力育成」モデル	47
■ 国語力向上「古中ブロック」スタンダード、「議論のルール」	50
■ 生徒指導連携部会、ABC運動、授業規律の教師心構え9ヶ条	51
■ 古中ブロック 100 冊の本①②	52

## 「伝えよう、あふれる思い」

古江台幼稚園 園長 前田 栄子

古江台幼稚園の今年度の努力目標は「伝えよう、あふれる思い」です。幼児にとっての「言語力育成」を考えた時、たくさんの生きた言葉を得るために、様々な体験をし、様々な感情をもつことが大切だと思われます。耳から学ぶのではなく、体験から学び、その体験に根差した生きた言葉を蓄えて、感情を表現していくことが言語力の育成につながると考えます。幼稚園では、話したい、伝えたいと思える体験ができるように、子どもがおもしろいと感じたり、関わったりしたくなるような素材をふんだんに用意し、教師は対話を通して子どもの発想を豊かにしたり深めていけるように心がけています。今、注目されている非認知能力（学びに向かう力や姿勢）も、幼児期の豊かな環境や周りの人の言葉で育つと言われてます。話は少しそれますが、「天皇の料理番」の秋山徳蔵氏は著書で「幼少期のちょっとした体験で人の一生は左右される」と書いてます。ノーベル賞を受賞した大村智氏は山梨県の農家の出身で、毎日農作業の手伝いをしていたそうです。氏のお姉さんは「こんなに偉くなるなんて信じられない、私達よりも勉強していなかったいたずらっ子で、近所では悪玉と言われていたのに…」と言っています。

数値ではあらかせないけれど、将来、必ず役に立つ力をたくさん身につけてほしいと思いつながら幼稚園での日々の保育を進めてます。

## 幼・小・中の連携

津雲台小学校 校長 有岡 雅裕

古江台中学校ブロックでは、平成21年度から「言語力の育成」をテーマに取り組みを進め、今年で7年目となりました。子どもたちの発達段階に応じた「言葉の増やし方」や「言葉の使い方」、「言葉での思考の深め方」を視点にした古江台中学校独自のカリキュラムを作成し、現在も加筆修正を加えて、より具体的に、そしてより精選したものへと改訂作業を繰り返してます。

津雲台小学校では、このカリキュラムをベースに、国語科を中心とした言語力育成を、他教科・領域へも広げ、しっかりと身につくような取り組みを進めてます。「話すこと」「聞くこと」を中心に据え、自分の思いを伝えることや友だちの考えを理解することで、好ましい人間関係を構築できるようになってほしいと願いつながら、日々の授業や活動の中で実践してます。少しずつではありますが、自分の言葉で表現し、相手の気持ちを理解できるようになってきたと感じてます。

また、子どもたちに読んでほしい「古中ブロック100冊の本」を選定し、読書にも取り組んでます。読書好きの児童が多い本校では、図書の間や昼休みなど、静かな環境の中で読書を楽しむ子どもたちの姿が見受けられます。

今後、古江台中学校ブロックの特色ある幼・小・中連携を発展させ、子どもたちのさらなる成長につながるように取り組みを進めていきたく思いつます。

## 1 1年間を見通した取組みのさらなる推進を

古江台小学校 校長 赤繁 信和

本校では今年度教育課程特例校の指定を受けて、1年生から6年生の全学年で外国語活動の取組みを進めてきました。年3回の研究授業を実施し、研究会では授業の振り返りを重ね、次の指導に結びつくような体制づくりに努めました。授業づくりでは関西大学の院生の方々にサポート頂きました。学年や発達段階で内容は異なりますが、歌やゲーム等を通して外国語活動の楽しさにふれながら「表現力」を育てる指導の工夫がテーマになりました。今年度の課題を精査し、中学校ブロックと連携して次年度に繋げていきたいと思えます。

(仮称)北千里・古江台認定こども園の整備計画により、本年度途中より古江台幼稚園が本校敷地内の仮園舎で学んでいます。1年生の教室とも近いので、給食や遊び、読書活動などさまざまな交流が出来ました。学校給食も月1回実施して頂いています。園児たちも新しい学習環境に慣れて、元気いっぱい活動しています。次年度に向けてさらなる交流を模索していきます。

ブロックでは今年度も「幼小中11年間で育む言語力の育成」の改訂作業を進めてきました。「言葉の増やし方」「言葉の使い方」「言葉での思考の深め方」は、まさに日頃の授業の積み重ねと振り返りが土台になります。次年度も授業づくりに直結した取組みをさらに推進していきたいと思えます。

### 統一した指導のもと、成長する子どもたち！

古江台中学校 校長 射場 宣廣

本中学校ブロックは、「幼小中11年間で育む言語力の育成」をテーマに取り組みをすすめています。推進委員のメンバーが毎月集まり協議し、研究授業や夏季・冬季研修、そして生徒指導交流などブロックの先生方の熱意と創意工夫により、1年間取り組みを進めることができました。また、中学校クラブ活動体験において、児童・生徒交流も深めることができました。

特に、幼小中の教職員が一緒になって、講師を招いての研修や研究授業・研究協議を計画的に取り組んでいます。そこでは、言語活動の充実がさらに各教科等の目標を達成させ、確かな学力の育成につながるものであるという共通理解のもと、取り組みをすすめています。

そこで、今年度も、「言葉の増やし方」「言葉の使い方」「言葉での思考の深め方」の改訂を行いました。また、今年度は、今までできていなかった両小学校の子どもたちがいっしょに取り組む小小交流を行いました。無理をせず、できること・する意味のあることを積み重ねていっています。

また、ブロックとして「ABC運動」を指導し、「授業規律の教師心構え9ヶ条」を教師が大切にしなければならぬもの・大切にしていきたいこととして、推進しています。この教師の共通認識・指導がこのブロックの一番素晴らしいところだと思います。これらの取り組みが、子どもたちの人間的な成長につながることを願い、ブロックの子どもたちがますます成長するように、ブロックとしてがんばりたいと思えます。

## 古江台中学校ブロック 年間の活動内容

### 推進委員会

第 1 回	4月20日 (月)	第 6 回	10月27日 (火)
第 2 回	5月15日 (金)	第 7 回	12月11日 (金)
第 3 回	6月22日 (月)	第 8 回	1月18日 (月)
第 4 回	7月14日 (火)	第 9 回	2月23日 (火)
第 5 回	9月18日 (金)		

### 事務連携部会

推進委員会前に開催

### 児童・生徒指導連携部会

6月11日 (木) 津雲台小学校・古江台中学校  
7月 6日 (月) 古江台小学校・古江台中学校  
3月23日 (水) 津雲台小学校・古江台小学校・古江台中学校

### 夏季合同研修会

7月29日 (水) 夢つながり未来館 (ゆいぴあ)

分科会 「各教科・事務」連携部会

テーマ・討議内容

- ・各教科、領域で授業で工夫しているところや課題となるところ
- ・子どもの発達段階に応じた「つきたい力」と現状
- ・各教科、領域ごとの情報交換

(児童生徒の現状と課題、授業、テスト、評価・通知票など)

- ①国語、②算数・数学、③社会、④理科、⑤英語、⑥体育、  
⑦図工美術・音楽・技術、⑧事務、⑨養護教諭・栄養教諭、⑩支援

全体会 講演「幼稚園から中学校を見据えた言語力育成や授業のあり方について」  
大阪教育大学 准教授 住田 勝 様

### 冬季合同研修会

1月22日 (金) 古江台中学校

講演 「言語力育成～ミューズ学習の取り組みを通して～」

関西大学 初等部 校長 田中 達也 様

### 公開授業

【津雲台小】 6月19日 (金) 6時限目 14時30分～15時15分  
道徳「勇気のかんづめ」 4年1組 井上 良太 教諭  
指導助言 吹田市教育委員会 指導課 指導主事 福井 将人 様

【古江台中】 1月4日 (水) 6時限目 14時35分～15時25分  
音楽 シューベルト「魔王」  
～物語を歌で表現する音楽のおもしろさを味わおう～  
1年3組 梅若 かおる 教諭  
社会「司法権」～模擬裁判を体験する～3年2組 阿部 千春 教諭  
指導助言 吹田市教育委員会 指導課 指導主事 福井 将人 様

【古江台小】 2月25日 (木) 6時限目 14時30分～15時15分  
外国語「動物の名前を英語で言ってみよう」  
1年2組 花谷 舞 教諭  
指導助言 関西大学 准教授 池田 真生子 様

### 授業見学・小小連携・クラブ体験等小中交流会

10月20日 (火) 古江台中学校

13時30分～14時00分 小学6年生 中学校授業見学

14時10分～14時30分 小、小連携

14時30分～15時30分 小学6年生 中学校クラブ見学・体験



## 〈古中授業見学、小・小交流、クラブ体験・見学会〉

10月20日(火) 古江台中学校 13:30～15:30

13:30 開会 13:40～14:00 授業見学

初めて中学校の授業を見学し、とても興味深くまわりました。見られる側も見る側もどちらも緊張感が漂っているように感じました。



14:10～14:30 小小交流

今年度から始めた取り組み。ぎこちなく始まった「じゃんけん列車」「ドッチビー」でしたが、終わるころにはとても和やかな雰囲気！！みんな楽しんでいました。



14:30～15:30 クラブ体験・見学会、閉会

中学生のサポートのもと、小学校にないクラブを体験したり中学校のボールやゴールの大きさの違いを感じたりしました。生徒会執行部やクラブの部員とともに、6年生の皆さんに中学校のクラブ活動を楽しく実感してもらえら有意義な取り組みとなりました。中学生にとっては後輩と直に接することで、来年に向けてより意欲がわいたようです。



## 〈公開授業①〉

11月4日(水) 6限 14:35～15:25

音楽科 シューベルト「魔王」～物語を歌で表現する音楽のおもしろさを味わおう～  
古江台中学校 1年3組 授業者 梅若 かおる



今回は、「魔王」の鑑賞を通して、仲間とともに音楽的要素を探し出していくという取り組み授業を行いました。普段、なかなか鑑賞の中で「言語力の育成」は難しいテーマなのですが、生徒たちは協力して取り組んでいました。



その中で、鑑賞したときに感じる「気持ち」の音楽的要素を探すためには、事前に音楽的要素をしっかり学習しておくこと、そして教師側の焦点を絞った質問が大切だと感じました。今回の経験をもとに、授業研究を進めていきます。

## 〈公開授業②〉

11月4日(水) 6限 14:35～15:25

社会科「司法権」～模擬裁判を体験する～

古江台中学校 3年2組 授業者 阿部 千春

平成21年に裁判員制度が始まったことにより、一般の国民も裁判員として裁判に参加することになりました。そこで、生徒が模擬裁判を実際におこない、その体験を通じて、刑事裁判の目的や原則を理解すること、さらに、生徒同士の意見の交流によって言語力を育成させることを目的として授業をおこないました。裁判独特の言葉や言い回しが多く、台詞が聞こえにくい場面もあり、事前の入念な準備が必要であることを痛感しました。

### 模擬裁判の様子



## 研究協議

講演：「授業力向上と言語力育成について」

吹田市教育委員会 指導課 福井指導主事

本日の公開授業は、社会は「裁判員制度について模擬裁判体験で学ぶ」、音楽は「鑑賞をグループワーク形式で深める」を目標として展開された授業でした。どちらも参加型・体験型で言語力育成に向かい合おうとした、積極的な授業でした。

アクティブラーニングを始め、参加型・体験型の学習が言語力育成に繋がり、また言語力育成が学力向上に繋がることは、統計にも表れています。

古江台中学校ブロックでは、「言語力育成」という共通テーマの下に教職員が繋がり、ブロック全体で子どもたちの学力向上、教員の授業力向上に取り組んでいるということが特徴であり、素晴らしいところだと思います。今後も、「参加型・体験型学習を行った」ということだけに満足するのではなく、研究を続けるとともに、授業に集中できない生徒への支援方法なども共有していけば、子どもたちも先生方もさらに力を発揮していけると思います。



1月22日(金) 15:30~17:00 古江台中学校

## 古江台中学校ブロック冬季合同研修会 開催

3校1園の教職員 61名 参加

講演会 「言語力の育成 ～ミューズ学習の取り組みを通して～」

講師 関西大学初等部 校長 田中 達也 様

関西大学初等部でのミューズ学習の実践を通して、言語力の育成についてのご講演をしていただきました。

ミューズ学習とは、考える時には、何を手がかりにどのように考えたらいいのか、また、どのような方法で考えたらいいのかなど、ベン図やボーン図などを使った「思考スキル」の獲得を目指した学習のことです。

関西大学初等部では、言語力を育成するためには話し合い活動が必要で、それを深めるためには、基本的な「思考力」が不可欠であると考え、「言語活動の充実につながる思考力の育成」を目指し、シンキングツール（イメージマップ・クラゲチャート・ピラミッドチャート・データチャート・コンセプトマップ・ベン図・ボーン図・PMI など）を使った授業を展開し、考えたことの「見える化」に取り組んでいます。

また、「思考スキル」を6つ（比較する・分類する・多面的にみる・関連づける・構造化する・評価する）に整理し、子どもの発達段階（低学年・中学年・高学年）によって、その「思考スキル」の獲得を目指しています。

後半には、各学年の様々な教科での「思考スキル」の獲得を目指した「シンキングツール」を使った授業の実践例を紹介していただきました。

1年生からの積み上げがあり、6年生になると、各自でシンキングツールを選び、自分の考えを書き出すことができている、この取り組みの良さをあらためて知ることができました。



2月25日(木) 14:30~17:00 古江台小学校

## 古江台中学校ブロック 努力目標研究授業・研究会

3校1園の教職員 54名 参加

授業者 花谷 舞 教諭 外国語「動物を知って遊ぼう」

講師 関西大学 准教授 池田 真生子 様

1年2組で外国語活動の研究授業が行われ、たくさんの先生方が参加しました。古江台小学校では、今年度最後の研究授業ということで、特例校1年目としての取り組みの成果を示す授業となりました。

1年生に45分間できるだけ集中させるために、導入部分で映像を使ってチャンツをさせたり、全員が授業に参加できるようにするために、ゲーム性のある内容を多く取り入れていました。また、授業の最後には英語で書かれた物語の読み聞かせをしていました。低学年は、外国語活動の時間にテンションが上がったまま授業が終わると、次の時間の授業でもテンションが上がったままで大変ということで、クールダウンの目的で取り入れています。どの児童も元気いっぱい楽しそうに授業に取り組むことができていました。



その後の研究会では、幼・小・中の先生方が6つのグループに分かれ、授業についての討議や表現力育成に伴った各校の取り組みについて話し合いました。限られた時間の中でたくさんの話ができて、有意義な時間となりました。

講師の池田先生からは、外国語を通して幼稚園から中学校における表現力の育成について話をいただきました。幼稚園や低学年では、異文化に興味を持たせ、世界に目を向けさせる「態度」を育成する。小学校の間は、自分のことを話したり、相手に質問して聞いたりする「話す」

「聞く」活動を中心に外国語に慣れ親しむことを大切に授業を行う。中学校からは幼稚園・小学校で育成してきた「態度」・「話す」・「聞く」に「書く」内容が入ってくる。小学校では主に音声で学び、中学校では文を読んで学ぶことになり、学年を重ねるごとに知的好奇心が変わっていくので、授業内容を考える必要があるということでした。

古江台小学校では、今年度一年間を通して研究、検討を重ねて出た成果と課題を次年度に引き継ぎ、特例校2年目として更なる研究を深めていきます。



# 第1回古中ブロック推進委員会報告

## ジョイント + + + プラス

2015年4月20日古中にて

出席者 古中 射場校長 内田教頭 阿部 今西  
 (敬称略) 古小 赤繁校長 世古 柚田 沖家  
 津雲小 有岡校長 毛利 大野  
 古幼 堂野園長代理

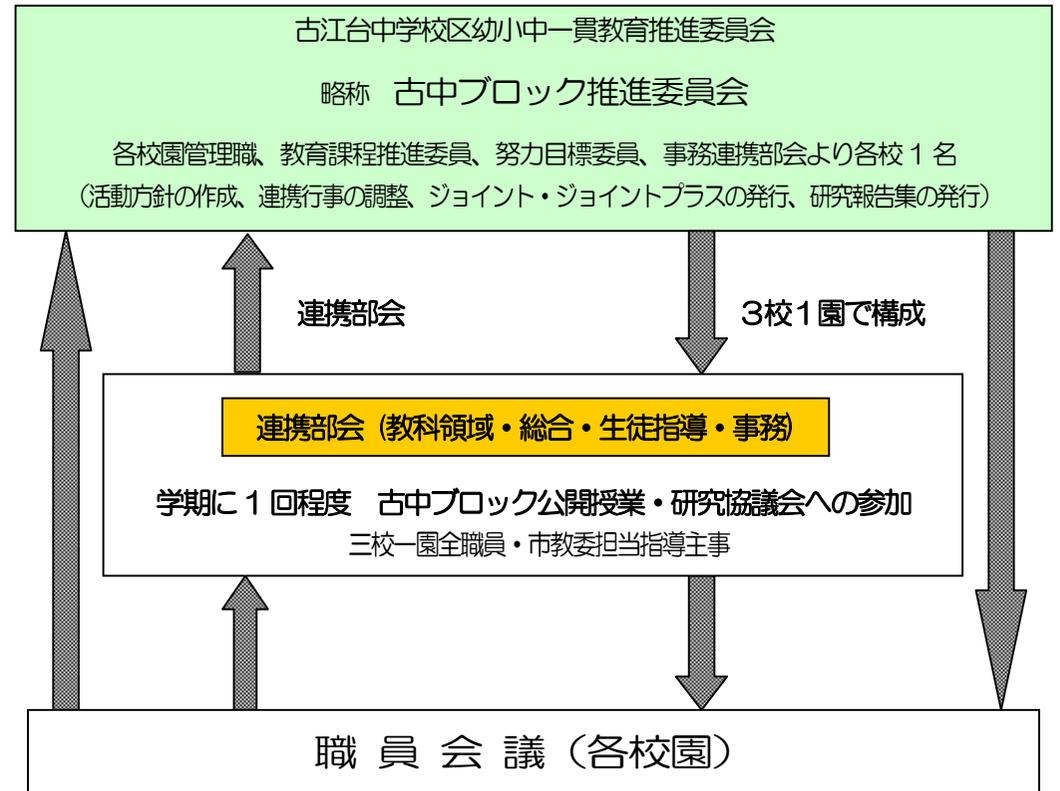
### 話し合われたこと

- 1, 本年度のテーマ 「言語力の育成」
- 2, 本年度の定例会の開催日について  
古中ブロック推進委員会  
 ①4/20 (月) ②5/15 (金) ③6/22 (月) ④7/14 (火)  
 ⑤9/18 (金) ⑥10/20 (火) ⑦11/13 (金)  
 ⑧12/11 (金) ⑨1/18 (月) ⑩2/23 (火)
- 3, 本年度の取り組みについて  
 ◇夏季合同研修  
 日時 平成27年7月29日 (水) 13時30分～ (予定)  
 会場 夢つながり未来館  
 講師 大阪教育大学 准教授の住田 勝先生 (第一候補)  
 (予定) ⇒古小で日程の都合などを確認しておく。  
 第二、第三候補として、各校・園で講師の候補を検討し、次回に持ち寄ること。(第一候補がOKの場合は冬季研の講師候補にする。)  
 テーマ 幼稚園から中学校を見据えた言語力育成や授業のあり方について  
 ◇ブロック公開授業  
 中学校で毎年1回、小学校1回のブロック公開授業を行います。  
 小学校は、津雲小と古小が隔年で回します。  
 道徳はブロック内での持ち回りとなります。  
 本年度は1学期：津雲小 (道徳)、2学期：古中 (教科)、3学期：古小 (教科)  
 古中は社会と体育、古小は外国語で授業をする予定です。  
 幼稚園の園内研が5月29日 (金) と6月16日 (火) にあります。  
 ◇冬季合同研修  
 日程 平成28年1月22日 (金)
- 4, その他  
 【古江台中学校ブロック幼小中連携組織図について】  
 昨年度同様の組織図で決定しました。(右頁参照)

## 平成27年(2015)年度

### 古江台中学校ブロック (古江台中学校 古江台小学校 津雲台小学校 古江台幼稚園)

#### 幼小中一貫教育組織図



#### 【古幼より】

平成30年よりこども園になります。夏季休業中に古小～仮園舎として移動します。  
 2学期より小学校の敷地内で園生活が送られます。それに伴い、7月11日 (土) にお別れ夏まつりを実施する予定です。後日、各校にポスターを配付します。

#### 【ジョイントプラス、ジョイントの発行割り当てについて】

ジョイントプラス：1学期 古小、2学期 津雲小、3学期 古中  
 ジョイント：1学期 津雲小、2学期 古中、3学期 古小  
 ※「ジョイントプラス」については、事務連携で作成します。

次回推進委員会 日程 5月15日 (金) 16時～ 古中

## 第2回古中ブロック推進委員会報告

### ジョイント + + + フラス

2015年5月15日古中にて

出席者 古中 射場校長 内田教頭 阿部 今西  
(敬称略) 古小 赤繁校長 世古 柚田 沖家  
津雲小 有岡校長 毛利 大野  
古幼 堂野園長代理

#### 話し合われたこと

##### 1. 夏季合同研修について

日 時 平成27年7月29日(水) 14時～17時

13時00分～13時30分 会場準備  
13時30分～14時00分 受付(ホール前にて行う)  
14時00分～15時10分 分科会  
15時10分～15時20分 休憩・移動・分科会準備  
15時20分～16時50分 講演会  
16時50分～17時00分 後片付け

会 場 夢つながり未来館  
(ホールおよび4部屋)

講 師 大阪教育大学 准教授 住田 勝先生

テーマ 幼稚園から中学校を見据えた言語力育成や授業のあり方について

- ・住田先生の都合により、例年の流れとは変更して行う。  
最初に分科会をし、その後、講演会を行う。
- ・当日の流れや準備物などは、古小より住田先生へ連絡・確認。  
(準備物はプロジェクター、パソコンなど)
- ・分科会は教科・領域ごとの下記10のグループに分かれて討議する。  
①国語②算数・数学③社会④理科⑤英語⑥体育⑦図工美術・音楽・技術  
⑧事務⑨養教・栄教⑩支援
- ・分科会では、各教科・領域の校種間のつながりや情報交換を行う。具体的に話し合いたいテーマ・内容があれば、次回の推進委員会に提案する。

##### 2. 公開授業について

<1学期> 津雲小 道徳(4年)

6月19日(金) 6時間目 14時30分～15時15分(予定)

→詳細は後日、事務連携にて案内を送信する。

<2学期> 古中 教科(社会・音楽)

11月4日(水)(予定) 時間などの詳細は未定

- ・前回の推進委員会で社会と体育で研究授業を行うようにお知らせしたが、体育が音楽に変更となった。
- ・音楽の研究授業は、吹田市の10年経験者研修と兼ねています。

<3学期> 古小 教科(英語)

日程は未定

- ・幼稚園の園内研が5月29日(金)と6月16日(火)にあります。

##### 3. 冬季合同研修について

日 時 平成28年1月22日(金)

講 師 島本町の校長先生や関西大学 初等部の田中 校長など(候補)  
→古小 赤繁校長より連絡。

##### 4. その他

###### 【小中一貫教育推進事業予算について】

予算 7万円(報償費)

内訳: 夏季合同研修 2万円、冬季合同研修 2万円

古中 1万円、古小 1万円、津雲小 1万円

###### 【小中一貫教育推進事業実施計画書および吹田市学校教育の概況の原稿について】

事務連携にて昨年度のデータをもとにたたき台を作成し、各校園へデータを送信する。  
内容について各校園で確認し、追加・訂正を行う。

特にブロックのめざす子ども像やテーマの確認をしておく。

###### 【古幼より】

7月11日(土)のお別れ夏まつりの詳細が決まりました。ポスターの掲示とともに案内のお手紙を配付してください。合わせて6月中旬までに参加人数の集約をお願いします。案内のお手紙のデータは事務職員へメールにて送信します。

###### 【AETの派遣について(古中より)】

中学校のテスト期間中、古中のAETを小学校へ派遣できます。

今回は5月18、19、20日と25日です。

各校で相談し、派遣が必要ならば古中の内田教頭まで連絡をしてください。

次回推進委員会 日程 6月22日(月) 16時～ 古中

# 第3回古中ブロック推進委員会報告

ジョイント + + + プラス

2015年6月22日 古中にて

出席者 古中 射場校長 今西  
 (敬称略) 古小 世古 柚田 沖家  
 津雲小 有岡校長 大野  
 古幼 堂野園長代理

## 話し合われたこと

### 1. 夏季合同研修について

日 時 平成27年7月29日(水) 14時～17時  
 (受付は多目的ホール前にて13時30分から)

会 場 夢つながり未来館  
 (多目的ホール、多目的リハーサル室①・②、多目的会議室②・③)

講 師 大阪教育大学 准教授 住田 勝 様

テーマ 幼稚園から中学校を見据えた言語力育成や授業のあり方について

### 【分科会】

- ・今年度、古小・津雲小は英語の特例校となった。
- ・中学校へ進学するにあたり、英語をどの程度の内容まで小学校で教えておくべきなのか。  
 例えば、挨拶や気持ち、褒め方の表現・工夫などを英語の分科会で交流し、今後の課題や取り組み内容を考えてみてはどうか。
- ・全体に向けて行うのがいいのであれば、冬季合同研修に交流の場を設けてもいいのではないかと。

下記内容で決定

- ・分科会では、各教科・領域の校種間のつながりや情報交換を行う。  
 また、今後の課題や具体的な取り組みも交流していく。
- ・昨年度同様、全体での報告会は行わない。各分科会の記録担当が記録し、まとめる。紙媒体の記録を各校の事務職員がデータ化する。  
 →後日、古江ブロックの教職員に文書報告する。

	13:30	14:00	15:10 15:20		16:50 17:00
受付	分科会①～⑩ 各教科・領域の校種間のつながり 情報交換		移動・休憩	講演会 「幼稚園から中学校を見据えた言語力育成や 授業のあり方について」 大阪教育大学 准教授 住田 勝 様	
多目的ホール前	6階 多目的ホール	5階 多目的リハーサル室①・②	4階 多目的会議室②・③	6階 多目的ホール	後片付け

### 【役割分担】

始めの挨拶・講師紹介	赤繁校長
終わりの挨拶	有岡校長
総合司会	古中 阿部
写真・記録	ジョイント作成校 津雲小
受付・準備物・夏季研案内	事務連携

- ・参加者、司会、記録を決めて、名簿を事務ナビメールで古小 沖家へ送信すること。  
 また、駐車券の関係があるため研修当日の交通手段を各校・園で集約し、古中へ報告すること。ともに締め切りは7月3日(金)とする。
- ・今年度は研修後のアンケートを統一した様式で集約を行う。  
 →後日、古小より事務ナビメールでデータを送信する。アンケートは9月の推進委員会で集約した内容を持ち寄る。

### 2. 公開授業について

- <1学期> 津雲小 道徳(4年)  
 →6月19日(金)に実施した道徳の研究授業は64名の参加がありました。  
 次回の推進委員会で感想や意見などがあれば各校・園より報告すること。
- <2学期> 古中 教科(社会・音楽)  
 11月4日(水)(予定)時間などの詳細は未定
- <3学期> 古小 教科(外国語活動) 日程は未定

### 3. 冬季合同研修について

日 時 平成28年1月22日(金) 15時～  
 場 所 古中 集会室  
 講 師 関西大学初等部 校長 田中 達也 様  
 テーマ(仮題) 「言語力の育成 ～ミューズ学習の取組を通して～」

### 4. その他

#### 【古中の授業・クラブ見学について】

次回の推進委員会で実施する日程を決定する。  
 また、今年度は小・小連携でどのような取り組みが出来るかを考えていく。

次回推進委員会 日程 7月14日(火) 16時～ 古中

# 第4回古中ブロック推進委員会報告

ジョイント + + + プラス

2015年7月14日 古中にて

出席者 古中 射場校長 内田教頭 今西  
 (敬称略) 古小 赤繁校長 世古 沖家  
 津雲小 有岡校長 毛利 大野  
 古幼 堂野園長代理

## 【役割分担】

講師接待	射場校長
始めの挨拶・講師紹介	赤繁校長
終わりの挨拶	有岡校長
総合司会	古中 阿部
写真・記録	ジョイント作成校 津雲小
受付・準備物・夏季研案内	事務連携

## 話し合われたこと

### 1. 夏季合同研修について

日時 平成27年7月29日(水) 14時～17時  
 会場 夢つながり未来館(多目的ホール、多目的リハーサル室①・②、多目的会議室②・③)  
 講師 大阪教育大学 准教授 住田 勝 様

推進委員会の方々には13時に集合

13時00分～13時30分 会場準備  
 13時30分～14時00分 受付(6階 多目的ホール前にて行う)  
 14時00分～15時10分 分科会  
 15時10分～15時20分 休憩・移動・講演会準備  
 15時20分～16時50分 講演会  
 16時50分～17時00分 後片付け

## 【準備物】

準備物		担当(役割分担)	
多目的ホール	机【30台】、椅子【90脚】	夢つながり未来館 より借用(予定)	古中
	マイク【2本】、ホワイトボード【1台】		古中
	ホワイトボードペン(黒、赤、青)【各1本】		古中
	プロジェクター、スクリーン		古中
多目的リハーサル室①	机【4台】、椅子【12脚】	古中	古中
多目的リハーサル室②	机【4台】、椅子【12脚】		古中
多目的会議室②	机【6台】、椅子【18脚】		古中
多目的会議室③	机【6台】、椅子【18脚】		古中
各所	掲示物(貼り紙)	事務連携	
受付	受付名簿、ペン	事務連携	
	講演会資料【90部】	事務連携	
分科会	記録用紙	事務連携	
講演会	講師用飲み物、紙コップ	古中	
	パソコン	未定	

※当日までに射場校長が会場との打ち合わせを行う予定

- ・研修案内は例年同様、指導課と教育センターも送付する。
- ・分科会記録は、各記録担当が8月中に分科会内容を記録(整理)する。各校の事務職員がその内容をデータ化し、古小 沖家へデータを送信する。
- ・研修後は各校園にて統一したアンケート用紙にて感想などを集約しておく。  
→後日、古小より事務なびメールでアンケート用のデータを送信する。  
アンケートは9月の推進委員会で集約した内容を持ち寄る。

### 2. 公開授業について

<2学期> 古中 教科(社会・音楽)  
 11月4日(水) 時間などの詳細は未定  
 <3学期> 古小 教科(外国語活動)  
 2月18日(木) 1年 時間などの詳細は未定

ブロックの公開以外にも古中で10月14日(水)に少人数習熟度別授業(国語)、10月29日(木)に10年研代表授業がある。

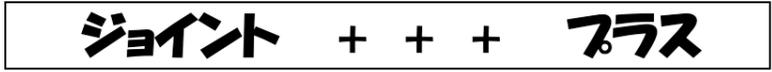
### 3. 授業・クラブ見学について

10月20日(火)で実施する。それにあわせて10月の推進委員会を10月27日(火)に変更する。今年度は小・小連携を深めていく内容も考え、授業見学は短時間で行う。小学校同士が当日に交流する内容は、6年担任同士で打ち合わせを行っていく。9月の推進委員会で詳細を決定する。

### 4. 冬季合同研修について

日時 平成28年1月22日(金) 15時～  
 場所 古中 集会室  
 講師 関西大学初等部 校長 田中 達也 様  
 テーマ(仮題) 「言語力の育成 ～ミューズ学習の取組を通して～」  
 →赤繁校長が夏季休業中に講師の先生と打ち合わせを実施する予定

次回推進委員会 日程 9月18日(金) 16時～ 古中



2015年9月18日 古中にて

出席者 古中 射場校長 内田教頭 今西  
 (敬称略) 古小 世古 柚田 沖家  
 津雲小 有岡校長 毛利 大野  
 古幼 堂野園長代理

話し合われたこと

1. 夏季合同研修会反省

全体的に良かった。  
 中学の先生には全体会講演のお話が国語科に偏っていた。  
 時期、時間、全体会の講演、良かった。会場も良かった。  
 分科会で内容が毎年同じになっている。交流ができてよかった。  
 参加者数が少なかった。  
 分科会について意見があった。次回に活かしたい。  
 参加しやすかった。  
 絵本から小学校の教材に繋がっているという話は初めて。斬新だった。  
 分科会で時間ギリギリまで入れず、準備が大変そうだった。  
 府の道徳研修と重なり参加できず、残念だった。

→11月か12月には、来年度の日程を決めて、夢つながり未来館を押さえる。

2. 授業見学 および クラブ体験・見学について

日時 平成27(2015)年10月20日(火) 13:30~15:30  
 場所 古江台中学校  
 時程 13:30 集合(体育館)  
 13:40~14:00 授業見学(引率教諭付添いのもと)  
 14:10~14:30 小小連携(体育館)  
 14:30 集合、開会(体育館)  
 14:35~15:20 クラブ体験・見学  
 15:25 集合、閉会

※各小学校で体験したいクラブの人数などを集約し、10月2日(金)までに校務ナビで送る。

※古小・津雲小で小小連携について打ち合わせて、内容(準備物)などを知らせる。

3. 公開授業について

2学期 古江台中 社会・音楽 11月4日(水)  
 14:15 受付  
 14:35~15:25 研究授業  
 15:45~17:00 研究協議

詳細は、後日案内文にて通知します。  
 参加体制を取ってください。

3学期 古江台小 外国語活動 2月18日(木)

※参考…古中 10月14日(水) 国語公開授業(2分割少人数授業)  
 10月15日(木)、16日(金) オープンスクール  
 中学校給食試食会(中学校保護者対象 9月末日までに申込)  
 10月29日(木) 美術公開授業〔兼10年研〕

4. 入学説明会日程について  
 古江台中学校 … 2月3日(水)

※古小・津雲小 … 2月15日(月)〔吹田市全校統一日〕  
 ※保護者対象行事はいれない。

5. 冬季合同研修会について

日時 平成28(2016)年1月22日(金) 15:00~  
 場所 古江台中学校 集会室  
 講師 関西大学初等部 校長 田中 達也 様  
 テーマ(仮題)「言語力の育成 ~ミューズ学習の取り組みを通して~」  
 ※次回以降に、時程、役割などを決める。

6. その他

- ・小中一貫教育推進事業報償費について  
 古小より講師謝礼金を伴う研修予定がないとの申し出。  
 →古中で3月に大阪大谷大学教育学部 教授 小田 浩伸 様を講師に招いて研修会を予定。  
 夏季合同研修会 2万円 → 2万円(変更なし・執行済)  
 冬季合同研修会 2万円 → 2万円(変更なし)  
 古江台中学校 1万円 → 2万円  
 古江台小学校 1万円 → 0円  
 津雲台小学校 1万円 → 1万円(変更なし)
- ・古江台幼稚園より  
 8月4日(火)古江台小学校内に移転しました。  
 小学校の児童が園庭のそばを通り、交流がある。  
 小学校のチャイム・放送も意識しているようで、子どもたちの方がなじんでいる。  
 9月25日(金)9時25分~ 小学校運動会の全体練習後、対面式を行う予定。  
 今後、避難訓練なども合同で行うことも考えている。  
 →2月18日古江台小公開授業の際、古幼を見ることができれば良い。
- ・ジョイントNo.29は、吹田市内全幼稚園・小学校・中学校、教育委員会、市教育センターへ配付します。古中ブロックHPにも掲載します。
- ・夏季合同研修会分科会記録は、事務連携でデータ化しました。年度末に配付予定の「古江台中学校区幼小中一貫教育研究報告集」に掲載します。
- ・年度末に向け、「言語力育成モデル」の改訂も各校園での取組と突き合わせ、追加(削除)等の修正を行っておく。

次回、推進委員会 10月27日(火)16:00~ 古江台中 ※年度当初予定より変更

ジョイント + + + フラス

2015年10月27日 古中にて

出席者 古中 射場校長 内田教頭 阿部 今西  
(敬称略) 古小 赤繁校長 世古 柚田 沖家  
津雲小 有岡校長 毛利 大野  
古幼 堂野園長代理

話し合われたこと

1. 授業見学、小・小交流、クラブ体験・見学会の反省
  - ・授業見学については、静かに行儀よくみてもらい良かった。
  - ・6年児童の荷物は、クラブ体験で必要なものを分けた上で、置いておいた方が良い。
  - ・次回、アンケート結果を持ち寄り、それをもとに反省を行う。

2. 古中ブロック公開授業について

平成27年11月4日(水) 古江台中学校 受付14時20分～

公開授業 6限 14時35分～15時25分

音楽 1年3組 第2音楽室 授業者 梅若 かおる 教諭

社会 3年2組 3年2組教室 授業者 阿部 千春 教諭

研究協議 15時45分～17時 集会室

司会 安藤首席(古中)

①挨拶 射場校長 (1分)

②授業者からのコメント (7分×2教科)

③質疑応答・全体交流 (10分～20分)

④指導助言・講演 (30分)

講演「授業力向上と言語力育成について」

吹田市教育委員会指導課 指導主事 福井 将人 様

⑤挨拶 射場校長 (3分)

※公開授業の反省用紙は、後日、古中より送付する。

3. 公開授業について

1学期 津雲台小 道徳 6月19日(金)

2学期 古江台中 社会・音楽 11月4日(水)

3学期 古江台小 外国語活動 2月25日(木)

4. 冬季合同研修会について

日時 平成28(2016)年1月22日(金) 15: 30 ～

場所 古江台中学校 集会室

講師 関西大学初等部 校長 田中 達也 様

テーマ(仮題)「言語力の育成 ～ミューズ学習の取り組みを通して～」

→詳細については、11月下旬に講師先生と打ち合わせ(赤繁校長)

次回の推進委員会にて検討する。

5. その他

- ・次回、各校の学力・学習状況調査結果を、持ち寄り報告する。保護者への公表は、11月30日(月)に合わせる。
- ・冬季合同研修会に向けての講師の方との打ち合わせ時期や授業見学・小小連携・クラブ体験の反省、11月4日古中ブロック公開授業反省、学力・学習状況調査結果報告準備等のため、次回の推進委員会は12月11日(金)とする。
- ・年度末に向け、「言語力育成モデル」の改訂について各校園での取組と突き合わせ、追加(削除)等の修正を行っておく。

次回、推進委員会 12月11日(金) 16:00～ 古江台中 会議室

# ジョイント + + + フラス

2015年12月11日 古中にて

出席者 古中 射場校長 内田教頭 今西  
(敬称略) 古小 赤繁校長 世古 沖家  
津雲小 有岡校長 毛利 大野  
古幼 堂野園長代理

## 話し合われたこと

### 1. 10月20日 授業見学・クラブ体験について

- (1)開催時期
  - ・適切である。
  - ・遅い方がよい。(3学期)
- (2)授業見学時間
  - ・昨年より短い(10分×2)今年度の方がよい。
- (3)小小連携
  - ・来年度同じ古中へ行く子どもの交流が持てて良かった。
  - ・交流で使用する準備物について事前に連絡しておくべきだった。
  - ・もう少し時間を確保できれば良かった。
- (4)クラブ体験
  - ・適切である。
  - ・ウォーミングアップなどが長いクラブがいくつかあった。そのクラブの楽しいところを見せてほしい。
- (5)その他
  - ・授業見学の際、態度が悪い生徒がいた。小学生には複雑だった。
  - ・短い時間でしたが、授業見学、クラブ体験を通して、中学校の雰囲気はわかって良かったです。
  - ・授業見学の際、学年・教科が偏っていたので、いろいろな学年や教科を見学できれば良かったです。
  - ・ありがとうございました。

### 2. 11月4日 公開授業・研究協議について

- (1)開催時期
  - ・適切である。18(ただ、音楽会前でバタバタした。)
  - ・早いほうがよい 1(11月は一番忙しいように思う。)
- (2)公開授業について
  - ・適切である。15
  - ・判断がつかない
  - ・1~3年の授業が見れるとよい。
  - ・「言語力育成」という焦点で、授業を当てていただけると良かった。
  - ・2つを見るのは無理がある。1本にしぼってはどうか。
- (3)研究協議の流れや会場について
  - ・適切である。14
  - ・2本の授業を同時に研究協議していくので、焦点化しにくい。
  - ・司会から討議の柱(授業力向上と言語力育成について)を言っていただけるともっと深めることができた。
  - ・出席率が低かった。

### (4)福井指導主事の講演について

- ・良かった。10
  - 「言語力育成」に焦点をあてるようにとのご指摘がその通りだと思った。
  - 両クラスの授業ともていねいに助言していただいた。
- ・その他 4
  - もう少し具体的な話を聞きたい。
  - 授業2本の分析は難しいのでは？

### (5)その他

- ・体験学習をやらせていることに満足しているといけない。体験学習で知識や技能の習得、学習が身につくようにするのは小学校の課題である。
- ・音楽などの技術教科での言語力にスポットをあてた取り組みはとても良かったと思います。
- ・指導案についてわかりづらい箇所があった。最低限のひな型が校内で共有されると負担が減るのではないかと思いました。
- ・授業案に「言語力育成について」が書かれているとわかりやすい。
- ・社会科の授業で、子どもたちが使っている教科書や資料のコピーがあるとうれしかった。
- ・授業に集中できていない生徒への支援の仕方は？
- ・言語力を把握するとき、何かデータをとれるところはとってみてはどうか。

◎これまでは研究協議では講師先生のお話を多くしていただいていた。2教科の授業を見て研究協議することが難しかったようである。

◎古中の公開授業は毎年2教科ずつ行ってきた経緯がある。公開授業は来年度も2教科で行う予定である。

### 3. 冬季合同研修会について

日 程 … 平成28年1月22日(金)

15:30 ~ 16:45 講演

16:45 ~ 17:00 質疑応答

場 所 … 古江台中学校 集会室

講 師 … 関西大学初等部 校長 田中 達也 様

テーマ … 「言語力の育成 ~ミューズ学習の取り組みを通して~」

役 割 … 講師お迎え : 古江台小学校 赤繁校長先生(阪急山田駅まで)

司会・進行 : 古江台中学校 阿部先生

初めの挨拶・講師紹介 : 古江台小学校 赤繁校長先生

終わりの挨拶 : 津雲台小学校 有岡校長先生

準備物 … パソコン、プロジェクター、スピーカー、マイク、受付名簿

※紙の資料がある場合は、90部用意する。(古小)

事業費手続き … 古江台小学校

#### 4. 学力・学習状況調査について（11月30日公開済）

##### 【古小】

- ・国語A・B、算数A・B、理科 いずれも全国値を上回り、良好な結果である。
- ・国語「言葉を書き抜く」「内容をまとめて書く」の正答率が低く、課題が残った。
- ・算数「内容量を求める式と答えを書く」、「面積が等しくなるわけを書く」の正答率が低く、課題が残った。
- ・理科「示された器具（顕微鏡）の名称を書く」が全国値を下回った。
- ・「国語の勉強は好きだ」「算数の勉強は好きだ」「理科の勉強は好きだ」「読書が好き」が全国平均値を上回っている。
- ・「総合的な学習では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」と答えた児童は全国平均を下回っている。
- ・「学校へ行くのは楽しい」「地域の行事に参加している」と答えた児童は全国平均をやや下回っている。
- ・日常生活と関係付けながら適切に判断できる力をつける指導を充実させていく。
- ・自己有用感や自尊感情を育んでいきたい。

##### 【津雲小】

- ・国語A・B、算数A・B、理科「知識」「活用」全国値を上回り良好である。
- ・国語、算数とも、どの領域においても全国値を上回っているものの、正答率が低い問題もあり、課題が見られました。
- ・理科では、特に実験器具の名称を答える問題に課題が見られました。出題自体が間違えやすい問題のように感じた。仮説を立てて説く、訳を書くなど課題解決型の問題でしっかりできているだけに、できていないことがあらためてわかった。
- ・生活習慣や学習環境等に関してはほぼ良好であった。家庭学習もよくしている。
- ・いじめについて「どんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した児童の割合が全国値を下回った。とても気になっている。

##### 【古中】

- ・国語A・B、数学A・B、理科 いずれも平均正答率は全国値を上回っている。良好な結果である。
- ・無回答率が低く、国語Aでは、2問きわめて高い正答率であった。漢字の反復練習の成果が出ていると考えられる。
- ・国語 統計・図から情報を読み取ることに課題がある。
- ・数学 計算は強いが、資料の読み込み、図形の証明・根拠をはっきりさせ記述するなど、課題が見られた。
- ・数学 今までにない問い方をされると、感覚的に解答ミスをする生徒が多く見られた。
- ・理科 無回答率が低く、知識を使って科学的に表現する力も概ね身につけている。
- ・実験結果を分析し応用する力、説明する力、意味を読み取る力等をつけていく必要がある。

- ・いじめについて「どんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した生徒の割合が全国値及び昨年度回答値をやや下回った。
- ・「難しいことでも失敗を恐れないで挑戦している」などは全国値及び昨年度回答値を上回っている。自己肯定感が高いけれども、他者との関わりには課題がある。地域や社会に対しての関心も低いので、取り組む必要がある。
- ・「話し合っただけで決まりなどを決める」などは全国値を下回っている。言語力の育成などの観点からも、話し合う機会・ディベートなども大切にしたい。

◎全ての面で全国平均を上回っている。各校の取組、連携の成果が表れていると思う。各校ホームページに掲載しているので、ご覧ください。

#### 5. 言語力育成モデルについて

「(教科・領域別)言葉の増やし方、使い方、思考の深め方」の改訂について、各学校園で追加等の検討を行い、次回の推進委員会に持ち寄る。

#### 6. その他

##### (1)来年度、夏季合同研修会の日程・場所

1月校長指導連絡会で、来年度の主な日程が出るので、それを受けて検討する。

##### (2)小中一貫教育代表者会での資料（姫路市での取組）の提供がありました。参考にしてください。

##### (3)例年、1月早々に「小中一貫教育推進事業実績報告書」提出依頼文が来るので、今年度の内容等をふまえた成果等を記述する。

##### (4)事務連携より〔2月3日（水）古中入学説明会に向けての案内文、氏名確認文書・封筒を児童名簿データを早めにやり取りするなどして、一緒に配付できないか。〕を提案した。

→2回に分けて配付することは、さほど負担ではない。また、日にちをあけ2回目を配付することで、保護者に日程を再認識してもらうこともできる。よって、12月中に案内文、1月下旬に氏名確認文書・封筒を配付する日程を進める。

次回、推進委員会 1月18日（月）16:00～ 古江台中 会議室

## 第8回古中ブロック推進委員会報告

ジョイント + + + プラス

2016年1月18日 古中にて

出席者 古中 射場校長 内田教頭 阿部 今西  
(敬称略) 古小 赤繁校長 世古 柚田 沖家  
津雲小 有岡校長 毛利 大野

### 話し合われたこと

#### 1. 古中ブロック公開研究授業について

##### ◆1月4日 公開授業・研究協議アンケートの集約 (古中:有効回答数7)

- (1)開催時期 ・適切である:5  
・遅いほうが良い:2 (実力テスト直後以外で)
- (2)公開授業 ・適切である:7
- (3)研究協議の流れや会場について  
・適切である:7
- (4)福井指導主事の講演について  
・良かった:7 (実際の授業で活かしていける話でよかった)  
(適切でわかりやすい話であった)
- (5)その他 ・研究協議で、授業者も意見を言っている人も聞いている人も前向きで、授業をよくしていきたい気持ちがありとてもよかった  
・授業中は、クラブを止めていただきたい。

##### ◆今後の日程

2月25日(木)古江台小学校 外国語活動  
⇒詳細は後日、配信します。

確認事項:学級閉鎖の場合は、古江台小学校の都合にて実施

#### 2. 古中ブロック冬季合同研修会について

日 時:平成28年1月22日(金)  
15:30 ~ 16:45 講演  
16:45 ~ 17:00 質疑応答  
場 所:古江台中学校 集会室  
講 師:田中 達也様(関西大学 初等部 校長)  
司会 阿部(古中)

テーマ:「言語力の育成 ~ミューズ学習の取り組みを通して~」

役 割:講師との連絡(古小 赤繁校長)

受付(事務連携)

はじめの挨拶、講師紹介(古小 赤繁校長)

おわりの挨拶(津雲小 有岡校長)

準備物:パソコン、プロジェクター、スクリーン、スリッパ、受付名簿  
マイク(司会用)

資料印刷90部(A4・1枚 古小にて準備)

最終確認:古小 赤繁校長

14時半お迎え、15時前に控室(古中 校長室)

マイナンバーの事務手続き等

#### 3. 言語力育成モデルについて

##### ◆言葉の増やし方、使い方、思考の深め方の改訂について

積み上げで書き足していくため削除はなし。両小学校で確認しながら改訂

### 追加訂正内容

<言葉の増やし方>

低学年

- ・「はじめ」「中」「終わり」の構成を意識(古小)
- ・イメージマップの活用(古小)

中学年

- ・読書 音読 暗唱(話す・聞くスキルを使って)(古小)
- ・ゲームの要素を取り入れて辞書引きに慣れる(古小)
- ・国語の各単元の学習計画に「意味調べ」を入れ、語彙を増やしていく(古小)
- ・「はじめ」「中」「終わり」の構成を意識して、文章(物語文、説明文、感想文)が書けるようなワークシートを作成する(古小)
- ・音読名人のルールを意識させる(古小)
- ・算数、理科で用語を用いて記述することを意識させる(古小)
- ・詩の指導を通して擬態語、擬声語を考える(古小)
- ・読書「5000ページの旅」を設定し読書を進める(古小)

高学年

- ・辞書引きの宿題を定期的に出す(古小)

## <言葉の使い方（運用）>

### 低学年

- ・「はじめ」「中」「おわり」を意識したお話づくり（古小）
- ・音読劇やオペレッタへの発展（古小）
- ・本を紹介するリーフレットづくり（古小）

### 中学年

- ・日記（古小）
- ・作文のための文の組み立てを考えるワークシートを作成し冊子に綴じ常にそれを参考にして作文が書けるようにする（古小）
- ・授業のふり返りを書かせている（津雲小）

### （期待される成果）

- ・教室提示によって、つねに意識してその言葉を使おうとする児童が増え、他教科では学んだ言葉を使って発表することができている（津雲小）
- ・考えたことを順序立てて文章にすることができるようになる（津雲小）

### 高学年

- ・国語の教科書にある手引き「言葉の使い方」を参考にする（津雲小）
- ・「書き方マニュアル」を参考にする
- ・話し合い活動において、司会カードを活用させる（古小）

### （期待される成果）

- ・「～からわかるように」「資料～は、～を表したものです」などの言葉を活用しながら自分で文章が書ける（津雲小）

## <言葉での思考の深め方>

### 低学年

- ・ペアで交流、班で交流、クラスで交流などの形態をとりながら相手にわかる説明をすることで自分の思考を整理する（古小）

### 中学年

- ・二人で交流、班で交流、クラスで交流などの形態をとりながら相手にわかる説明をすることで自分の思考を整理する（古小）

### 高学年

- ・作文を書く前に、イメージマップを書き、そこから書きたい事柄を選んだり膨らませたりする（古小）

◆古幼、古中は次回推進委員会にて追加訂正内容を報告する。

## 4. その他

### 【28年度 夏季合同研修会について】

日 時：平成28年7月26日（火）第1候補  
7月29日（金）第2候補

場 所：夢つながり未来館

調整役：津雲小 有岡校長

### 【古江台中学校区幼小中一貫教育研究報告集について】

- ・校長挨拶、年間活動計画、ジョイントプラス、ジョイント、夏季研まとめ、公開授業指導案、事務連携、活動内容、言語力育成モデル、議論のルール、古中ブロックABC運動、古中ブロック100冊の本等を掲載
- ・公開授業指導案の電子データを、各担当者に確認して準備しておく。
- ・報告集の各学校長・園長挨拶「古中ブロックの取り組みについて」  
原稿依頼（3校1園4名で2ページ）  
締切→3月2日（水）までに古小へ送信する
- ・生徒指導連携部会→6/11（津雲小と古中）、7/6（古小と古中）、3/23の小中情報交換会（小6の担任と中学の先生の交流）について掲載

### 【小中一貫教育実施状況調査について】

古中で作成して各校園へ配信、確認をお願いします。

### 【小中一貫教育推進事業（古中ブロック）のお知らせについて】

2月10日（水）津雲台小学校

3月16日（水）古江台中学校

⇒詳細は後日、配信します。

次回、推進委員会 2月23日（火）16:00～ 古江台中 会議室

## 第9回古中ブロック推進委員会報告

ジョイント + + + プラス

2016年2月23日 古中にて

出席者 古中 射場校長 今西  
(敬称略) 古小 赤繁校長 世古 柚田 沖家  
津雲小 有岡校長 毛利 大野

### 話し合われたこと

#### 1. 古中ブロック公開授業について

2月25日(木)古江台小学校

公開授業 6限 14時30分～15時15分

外国語「動物の名前を英語で言ってみよう」

1年2組 花谷 舞 教諭

研究協議 15時30分～17時 多目的教室

指導助言 関西大学 准教授 池田 真生子様

#### 2. 古中ブロック冬季合同研修会について

日 時：平成28年1月22日(金) 15:30～ 講演

場 所：古江台中学校 集会室

講 師：田中 達也様(関西大学 初等部 校長)

テ ー マ：「言語力の育成 ～ミュージズ学習の取り組みを通して～」

※まとめ ・わかりやすかった。

・考え方を深めるための図形であるが実際使っていくには継続的な取り組みが必要ではないか。

#### 3. 言語力育成について

古中の訂正・追加項目

<言葉の増やし方>

- ・グラフや写真などの資料から読み取れることをまとめる(社会)
- ・自ら感じたことや自分なりに解釈したことを言葉に表す(音楽)
- ・授業で習った表現を繰り返し練習し、小テストなどで定着を図り、語彙力を高める(英語)
- ・ペア、グループワークを通し、コミュニケーション能力を育成する(英語)

<言葉の使い方(運用)>

・技術科：言語を活用し、理解の解決をめざす(技術・家庭)

<言葉での思考の深め方>

- ・レポート力、ノートなどのまとめ力の育成、調べ学習(社会)
- ・自己評価する(社会)
- ・演技(動き)を言葉で表現しレポートを作成する(保健体育)

※前回の小学校の追加・訂正と併せて言語力育成モデルを事務連携で修正する。

#### 4. 「古江台中学校区幼小中一貫教育研究報告集」について

・前回推進委員会で掲載内容と原稿担当校を確認済

・報告集の各学校長・園長挨拶「古中ブロックの取り組みについて」

原稿依頼(3校1園4名で2ページ)締切→3月2日(水)までに古小へ送信する

#### 5. 年度末反省(次年度へ向けて)

- ・研究授業の交流だけでなく、これからもいろんな形で関わっていけるといいなと思います(古小)
- ・公開授業は、次年度も続けて欲しい(古小)
- ・授業を見て、話をする機会があるのはとてもいいことなので、続けて欲しいと思います(古小)
- ・今年度初めて小・小連携をして、中学に入る前に子どもたちは交流ができてよかった(古小)
- ・研究授業の時期は3校ともずれていてよかった。(古小)
- ・担当の方の負担はどうなのでしょう(古小)
- ・研修会(2回)や研究授業(3回)で、せわしかった ⇒このままで来年度も続ける
- ・中学校の体育祭に6年生が少しでも参加できると、6年の児童にとって中学校のイメージが持てるようになるので、実施してはどうか(つなひき、リレーなど)  
⇒中学校への移動時間も考慮し、交流できる時間も一種目程度で見学して帰るとなるとそれだけで来ていただくのはどうか。する方向であれば体育祭は6月初旬なので早急に決めていかなければいけない。  
※古小は参加したい考えなので、津雲小で持ち帰り確認する。
- ・研修会のアンケートで次回以降の講師の希望等もアンケートでとっていく
- ・研修会の場所・講師などは前年の秋には決めていく

#### 6. 来年度、夏季研修会の日程・場所について

日 時：第1候補；平成28年7月26日(火)、第2候補；7月29日(金)

場 所：未定(夢つながり未来館不可) 早急に探していく

講師候補：島本町指導主事(小中一貫教育)・大阪大谷大学 小田先生(特別支援)  
関西大学 池田先生(外国語活動)・大教大付属池田小 校長(危機管理)  
など、早急に探していく。

#### 7. 平成28年度第1回推進委員会日程について

4月25日(月)16時～ 年間行事予定表を持参し、日程を決定する。

#### 8. その他

【来年度の中ブロック公開授業について】

1・3学期：古小(道徳)、津雲小(教科)、2学期：古中(教科)

【平成27年度 吹田市小中一貫教育推進事業実績報告書について】

津雲小より各校園にたたき台を配信済、確認をお願いします

【連絡】

入学式(津雲小)・対面式(古小)であいさつする児童を決めて、3月半ばごろまでに古中・阿部先生まで連絡をお願いします。

次回 平成28年度 第1回推進委員会

4月25日(月)16時～ 古中にて(年間行事予定表を持参)

第 2 分科会		算数・数学	
司会・進行	今井(古小)	記録	宮崎(古中)
1. 授業で工夫しているところや課題となるところ			
古江台中:5分間の復讐プリントを作っている 同じプリントを二枚渡して、一枚は授業中、もう一枚は家で 勉強のネタを与えることで家庭学習の習慣作り			
津雲台小:6年は授業の初め3分間は計算タイム 3年は百ます計算などを時々入れる 1年は楽しくやることを第一に。わかる状況を導入で作り本題へ入る			
古江台小:金曜日に復習プリント、B4裏表くらい。2~6年生で実施。			
2. 子どもの発達段階に応じた「つきたい力」と現状			
古江台中:途中式を重視、考え方、手順を自分で説明できる力をつけたい 証明問題ができない子→途中式を省きたがる子に多い			
津雲台小:1年生から立って発表するなどして発表の機会を多く作っている 3年生・・・計算力がまず第一。たとえば九九は完璧にするなど 6年生・・・基礎、基本的な力はまずつきたい			
古江台小:発言させたい。計算でも過程を重視。			
3. 情報交換(児童・生徒の現状と課題、授業、テスト、評価、通知票など)			
古江台中:評価の仕方の変化について A:80%以上 B:80%未満~40%以上 C:40%未満 評価の仕方を変えたことにより学力が上がったわけではないのに成績が 上がってしまう子が多い			
津雲台小:厳しく評価をつけてしまうと、苦手意識がついてしまい、その強化をきらいに なってしまう可能性があるのなるべく厳しくつけない			
4. その他(感想など)			
中学校へ進学する上で、小学校の時に何かしてほしいことはないか			

第 1 分科会		国語	
司会・進行	石井(古中)	記録	河本(津雲)
1. 授業で工夫しているところや課題となるところ			
・つきたい力 教材について分かるけど、別の教材になると分からないではなく、説明文の通して、 分かること			
・見やすく、発問が明確になるように心がけている			
・古中 国語は単純分割 単元も別々のものを教える → ふたりで手分けして教える 子ども一人一人に手をかけられる ↓ 単元末に課題を入れている 目標2~3個			
・課題 子どもの関心・意欲が低い			
・音読は大切 音読と目読の良さを知ること ↓ 間違えたら交代(短く、3行程度) 息継ぎの方法を知るため			
2. 子どもの発達段階に応じた「つきたい力」と現状			
・間違えずに音読ができる			
・相手への伝え方(自分の伝えたいことをどう伝えるか)			
・伝えたいことでなく、やらされている <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">伝える力</span>			
・聞く力(話し方が悪いのか、分からないのか) →教師の話し、教材、… etc			
・範読について 聞いて『おもしろいな』 → 意欲が出るのでは 自分でできなければ、CDで 抑揚をつけすぎるのは良くない			
3. 情報交換(児童・生徒の現状と課題、授業、テスト、評価、通知票など)			
・評価について			
・読み取り 初見の問題を解かせてみる			
4. その他(感想など)			

第 4 分科会		理科	
司会・進行	大西(古中)	記録	木村(津雲)
1. 授業で工夫しているところや課題となるところ			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットの使い方(STS)</li> <li>・パワーポイントを使っておく</li> <li>・学力テスト等に対応した授業 どうやって点数に結びつけるか 知的な部分を定着させるには 実験を全てやると時間が足りない</li> <li>・準備が大変 小学校で担任がやるのは無理がある</li> </ul>			
2. 子どもの発達段階に応じた「つきたい力」と現状			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・質問に対する答え方がわからない</li> <li>・表現力の低さ</li> <li>・タブレットを使わせても学力は上がらない 実際にみる、苦労することが大切</li> </ul>			
3. 情報交換(児童・生徒の現状と課題、授業、テスト、評価、通知票など)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・座学の時間が必要になるが、子どもの興味関心がうすれるのではないか</li> <li>・理科の楽しさを小学校で味わって中学へ送ってほしい</li> <li>・小学校における理科は専門でない教員もやる</li> </ul>			
4. その他(感想など)			

第 3 分科会		社会	
司会・進行	西田(津雲)	記録	浦西(古小)
1. 授業で工夫しているところや課題となるところ			
【小学校】			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図記号を覚えるためにフラッシュカードを使っている。</li> <li>・教科書では物足りないのでカラフルでわかりやすい資料集を使っている。</li> <li>・出前授業などを多くしている。</li> <li>・子どもたちが疑問を持つような発問・課題の提示。</li> <li>・調べ学習のすすめ方。(どこまで調べ学習をするのか。)</li> </ul>			
【中学校】			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生は地理と歴史を同時進行でやっているので積み上げが少ない。</li> <li>・チャレンジテストがあり、テストまでに単元を終わらせないといけない。</li> <li>・ゆっくりと調べ学習ができない。</li> </ul>			
2. 子どもの発達段階に応じた「つきたい力」と現状			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校はポイントを教えるので子どもたちがやったことの積み上げが少ない。 だから、中学校でも同じことをなぞってやらないといけない。</li> <li>・田植え体験などの体験したことや都道府県は覚えている。</li> <li>・文章を書く力。</li> <li>・調べ学習は進んできている。</li> <li>・漢字をしっかりと書けない。社会のテストの現状は小学校はどちらでもよい。 中学校は習ったことは漢字で書く。</li> <li>・授業規律はできている。</li> <li>・修学旅行で広島へ行って平和学習をしているのはよい。 だから中学校の修学旅行でも関連した沖縄などにいけたらな…。</li> </ul>			
3. 情報交換(児童・生徒の現状と課題、授業、テスト、評価、通知票など)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>小学校の資料集は中学校でも使えそうなのでとっておいたほうがよい。</u></li> <li>・通知表が変わって社会が本当に得意かどうか分かりにくくなった。</li> </ul>			
【共通】			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・忘れ物が多い。</li> <li>・塾にっている子が多い。</li> </ul>			
4. その他(感想など)			

第 6 分科会		体育												
司会・進行	川淵(津雲)	記録	白井(古小)											
1. 授業で工夫しているところや課題となるところ														
<p>種目・分野などしぼって</p> <p>【ボール運動】</p> <p>ゴール型、ベースボール型</p> <p>【器械運動】</p> <p>マット、鉄棒→基礎的な体の使い方</p>														
2. 子どもの発達段階に応じた「つきたい力」と現状														
つ け たい 力	<p>◎体育でも言語力育成として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作戦会議の中で、どこに動けば得点・パスにつながるかなどをチームで共有していく。</li> <li>・技が出来ても、「どうやって技が出来たのか？」を説明できるように。</li> </ul> <p>◎リーダーになれる子が、中学生になってしまうと目立たなくなる。</p> <p>⇒チームワークを大切にしたい。</p>													
	<p>【マット】</p> <table border="0"> <tr> <td>(小学校)</td> <td></td> <td>(中学校)</td> </tr> <tr> <td>・まわれたらOK。</td> <td></td> <td>・手の平でおせない。(くずれてしまう)</td> </tr> <tr> <td>・体がかたい子が多い。</td> <td>⇒</td> <td>・体がかたい子が多い。</td> </tr> <tr> <td>しかし、ストレッチをとる時間がない。</td> <td></td> <td>ストレッチも小さい頃からしてほしいな。</td> </tr> </table>			(小学校)		(中学校)	・まわれたらOK。		・手の平でおせない。(くずれてしまう)	・体がかたい子が多い。	⇒	・体がかたい子が多い。	しかし、ストレッチをとる時間がない。	
(小学校)		(中学校)												
・まわれたらOK。		・手の平でおせない。(くずれてしまう)												
・体がかたい子が多い。	⇒	・体がかたい子が多い。												
しかし、ストレッチをとる時間がない。		ストレッチも小さい頃からしてほしいな。												
3. 情報交換(児童・生徒の現状と課題、授業、テスト、評価、通知票など)														
違 い	<p>【評価】</p> <table border="0"> <tr> <td>(小学校) 体育ぎらいをなくすことが大事</td> <td rowspan="2">}</td> <td rowspan="2">・評価の観点が違う。 これを古中ブロックとして うめていく必要がある。</td> </tr> <tr> <td>(中学校) 技を教える(技:競技としての見方)</td> </tr> </table> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・疑問に思うなら、授業を見に行くのも一つ(小中一貫として)</li> <li>・先生が変わると評価も変わるところも小中である。</li> </ul>			(小学校) 体育ぎらいをなくすことが大事	}	・評価の観点が違う。 これを古中ブロックとして うめていく必要がある。	(中学校) 技を教える(技:競技としての見方)							
	(小学校) 体育ぎらいをなくすことが大事	}	・評価の観点が違う。 これを古中ブロックとして うめていく必要がある。											
(中学校) 技を教える(技:競技としての見方)														
共 通	<p>・絶対評価だから、その子の能力は見ている。</p>													
	4. その他(感想など)													
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新任で来た人は、体育指導で何が難しい?…いま、自分が何を教えているのか分からなくなる。</li> <li>⇒ 時代背景もあり難しいかもしれないが、自分で授業の経験を積んでいくことが必要。</li> <li>・指導要領について</li> </ul>														

第 5 分科会		英語							
司会・進行	永森(古小)	記録	中村(古中)						
1. 授業で工夫しているところや課題となるところ									
<p>中学校 : 学力の差が開いているのでクラスを分けている 視覚的な教材(パワーポイント、歌)</p> <p>小学校 : E-roomを作った ラミネート下教材を用意している(曜日、月など) 講習会(クラスルームイングリッシュ)を開いた 勉強苦手な子が楽しんでいる → そのまま中学校に送る</p> <p style="text-align: right;">} 津雲台</p> <p>2学期から関大の先生が来てくれる(授業づくり・class room English etc 相談の乗ってもらう)</p>									
2. 子どもの発達段階に応じた「つきたい力」と現状									
<p>中学校 : 自分の考えを書いたり言ったりできるようになる スピーチ 中2...夢 中1...自己紹介 中3...自分の意見、考え</p> <p>小学校 : あいさつ、果物、自己紹介、数、色、動物</p> <table border="0"> <tr> <td>1・2年</td> <td>10回</td> <td>3・4年</td> <td>20回</td> <td>5・6年</td> <td>35回</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">} 今年から</p> <p>Hi, friends! ... 中学校の内容とかぶっている部分がたくさんある</p>				1・2年	10回	3・4年	20回	5・6年	35回
1・2年	10回	3・4年	20回	5・6年	35回				
3. 情報交換(児童・生徒の現状と課題、授業、テスト、評価、通知票など)									
<p>小中とつなげるために... Hi, friends! の教科書が古中にもあるとよい!</p>									
4. その他(感想など)									

第 8 分科会	事務連携		
司会・進行	沖家(古小)	記録	今西(古中)

1. 幼小中一貫教育推進に向けて

【現在の取組(再確認)】

- ・ジョイントプラスの作成、ジョイント作成への関わり
- ・合同研修会での役割(案内作成、準備、受付、記録など)
- ・「研究報告集」編集・印刷作成
- ・「幼小中一貫事業実施計画書」及び「吹田市学校教育の概況」の原稿作成
- ・幼小中一貫教育推進事業の予算管理

【推進事業への事務としての関わり方】

- ・現在のベースを軸として次のステップを考えていく。・・・具体的に何かないものか。  
\* 津雲台小学校・古江台小学校は今年度英語の特例校になっているので何か関われないか。  
→消耗品の情報交換をするなど。
- ・言語力育成モデルなどブロックとしての取組に関わりを持つことが重要になってくる。

2. 事務連携について

事務連携テーマ: 職務に関わる連携を目指して

- ・職務に関わる連携を目指して日ごろから事務連携として月1回1時間程度顔を合わせて話している。

①事務だより

- ・事務からのお知らせをほぼ毎月発行している(古江台小学校)
- ・他の学校の事務職員が発行している文書などを参考にしていきたい。  
事務だよりの内容や予算の執行計画の立て方など、各学校との情報交換が出来ればいいのではないか。

②児童名簿ファイルへの関わり方

- ・各学校ともメンテナンスや管理などを担っている。
- ・3月にミニ研修なども開催している。(古江台小学校)

③学校配分予算

- ・年間を通しての予算立てをしているため必要経費をきっちりと把握しておくことが大事である。  
今年度は必要経費をきっちり見直し、節約に努め次年度予算立ての準備をしていく。(古江台中学校)

④三手当

- ・新制度や通勤手当の事後確認など口頭だけでなく事務だよりなどで発信していきたい。(古江台中学校)

3. 情報交換(児童・生徒との関わり、校務分掌での役割など)

4. その他(感想など)

※全体を通して有岡校長先生より

- ・古中ブロックは、幼小中の連携の中できっちりと事務職員が関わっている。教職員、管理職も十分理解してうまくいっているからこれからも続けてほしい。
- ・幼小中一貫教育推進に向けて、毎年提出する時期がある程度決まっているもの(実施計画書や教育の概況など)について、もう少し先を見据えて推進委員に校正を依頼するなどして余裕があればよいと思う。
- ・事務だよりはお互いが時期に応じて作りたいものを情報共有し、ベースを作ってはどうか。  
毎月顔を合わせているので、その際にもっと連携してはどうか
- ・予算計画は夏の時期から始まっている。夏休みの備品整理や決算報告をしっかりと作成することが大事になってくる。
- ・三手当認定や事後確認、今年度からの新しい制度の説明などは任命権者である校長が主になっていくことが良いのではないかと。等、貴重なご意見いただきました。

第 7 分科会	図工・美術・音楽・技術・家庭科		
司会・進行	兒島(古中)	記録	松本(津雲)

1. 授業で工夫しているところや課題となるところ

音楽 みんなで1つの音楽を パートリーダー制など(古中)  
 苦手意識がある子への手立てを ← 声変わりや個人差が出てくる (古中)  
 個人に合わせた声かけ → 苦手意識を減らすには (津雲小)  
 リコーダー、歌テストは1人ずつ 階名読みは絶対に (古小)

図工 4月に道具の使い方、授業の組み立てを説明(津雲小)  
 友だちの作品を評価(津雲小)  
 1年 泥だんご→泥絵の具(幼→小→中のつながり)(古小)  
 導入を大事に(興味を引く、やる気を出させるため)(古小)  
 → 小6から中1へのすきまを埋めるためには?  
 出来上がりのスピードがバラつくので時間制限、細かい声かけを心がける(古小)

美術 苦手な子でも自信を持ってできるように → 名前尾を書かずに友だち同士で評価(古中)  
 作業内容によって、モチベーションが下がる(古中)

技術 ルール「ケガをしない、道具を大切に、そうじ、片付け」(古中)

ほめる  
 オーバーリアクションで!!  
 どこが良かったのか具体的に  
 →ポイントを伝える

2. 子どもの発達段階に応じた「つきたい力」と現状

- ・時間配分を自分でする力
- ・規律
- ・何回も何回も言う!

3. 情報交換(児童・生徒の現状と課題、授業、テスト、評価、通知票など)

- ・小2まで2段階、小3から3段階で評価
- ・授業の課題 → 苦手意識がある子への手立て
- ・作品を作る順序を説明(やり方を丁寧に伝える、具体的に)
- ・評価の差が大きい(小 → 中への)
- ・完成への見通しを立てさせる 小:完成させることに意味がある  
 授業内で終わらなくても何とかかなるかな…

↑ ↓ ギャップ

中:時間内に完成

↳ 授業内で終わらなかつたらそこで終わり

↳ 小学校高学年頃から、自分で考えられるような訓練を

4. その他(感想など)

第 10 分科会 養護教諭・栄養教諭			
司会・進行	菊池(古中)	記録	山本(古小)
1. 保健・衛生指導(健康教育、性教育など)について			
(幼稚園)			
・手洗い、歯磨き指導を行った。			
(小学校)			
・4、5年生に性教育を行った。			
2. 食育について			
(小学校)			
・栄養教諭の配置がなく、学年に任されている。			
(拠点校の栄養教諭に来てもらうこともある)			
(中学校)			
・養護教諭、栄養教諭、家庭専科とで「バランスのよい朝食づくり」について1年生に2時間ずつ授業を行った。その後、夏休みの宿題「1回は家の朝食をつくってみよう」を出している。			
また、吹田市の学研で、この授業をした学校としていない学校で子どもの朝食についての調査をしていくように考えている。			
・中学校の栄養教諭として、小学校へも出前授業へ行きたい。			
3. 情報交換(児童・生徒の現状と課題など)			
(幼稚園)			
・おはしの持ち方がちゃんと出来ない子どもが増えている。 → 保護者の意識?			
・ウンチがちゃんと出来ない。 → おむつの中へしか出来ない子どももいる。			
(小学校)			
・今年は1学期のケガが少なかった。			
(中学校)			
・ケガが多い。1人の子どもが何度も同じ部位を骨折しているなど。			
4. その他(感想など)			
(中学校)			
・他校に比べ、古中の子どもは体格が小さい。何が関係している? 食事?			
☆年に1回ですが、ブロックで集まり、短い時間でも情報交換ができる場がありとても良い。			

第 9 分科会 支援			
司会・進行	菅原(古中)	記録	中川(津雲)
1. 授業で工夫しているところや課題となるところ			
2. 子どもの発達段階に応じた「つけたい力」と現状			
3. 情報交換(児童・生徒の現状と課題、授業、テスト、評価、通知票など)			
4. その他(感想など)			
・個別の支援計画について			
幼稚園・保育園→小学校→中・高等学校 と引き継げるように			
高校受験の時に待遇してもらえないこともある。			
新しく受け持つ人も支援の仕方がわかりやすい。			
・途中入級について			
教育相談を通して入ってくるケースも多い			
学力的に厳しい子供が主に			
1年から入っている子どもより途中入級の子どもの方が支援ということに抵抗がある			
『あの子って支援だったの?』			
周りの目			
・対人関係のトラブル時について			
落ち着ける場所を作る 他人との連携、ルールを確認し合いながら			
(母と共有できても父と共有できないこともある)			
・トイレについて			
声掛けが必要な子ども、気に入らなかつたらわざと漏らす子ども … 小・中			
紙オムツを卒業できない子ども、立ってオシッコできない男の子 … 幼・保			
→ 幼・保で指導してくれるよう求める保護者が増えている			
・困っていること			
支援の子ども的人数と支援担の教師の人数の割合			
→ 手厚く支援できない、空いている教師にお願いすることも			
クラス担任との方向性の差異			
テスト前の補修、提出物の声掛け、手伝い			

# 道徳学習指導案

指導者 吹田市立津雲台小学校  
井上 良太

1. 主題名 「勇気のかんづめ」 1-(3)勇気
2. 日時 平成27年6月19日(金) 第6校時(14:30~15:15)
3. 学級 第4学年1組 33名
4. 場所 第4学年1組 教室
5. 資料名 「勇気のかんづめ」  
(出典:『とっておきの道徳授業Ⅲ』(日本標準)一部改編)

## 6. 主題設定の理由(主題について)

### (1) 価値について(価値観)

教室に給食ゴミが落ちていました。たくさん子どもたちが、まるで気づかなかったように、その上をまたいでいきます。その中で、一人の男の子が紙でそっと拭きました…。だれも見えていなければ、わかっていてもやらないですませてしまう心、だれも見えていなくても、ちゃんと正しいことをしようとする心。どちらが望ましいかは言わずもがなです。

人としてやるべきかそうでないかをしっかりと区別し判断する力は、子どもたちが幼い時期から徹底して身に付けていくべきものです。そのためには、何事にも積極的に取り組む姿勢が必要ですが、その原動力のひとつが「勇気」であると考えられます。

迷いやためらい、遠慮の気持ちに負けず、勇気を持って正しいことをし、正しくないことを阻止するといった強い態度を育てることは重要です。本題材「勇気のかんづめ」をもとにして、勇気とは何かについて子どもたちに考えさせていきます。また、子どもたち自身がこれまでに勇気が無かったために後悔した経験を出し合うことから、「勇気を出すためには？」ということについても話し合います。

勇気とは、「だれかにやってもらうこと」ではなく、「自分の心からわいてくるもの」であるとともに、「みんなも同じように考えていることを知ることで勇気が出てくる」ことにも気づかせていきます。「勇気」をもって行動することは自らの成長にもつながり、またよりよい社会を築くことにもつながります。そういう意思者であってほしいと強く願います。

### (2) 児童観

本学級の子どもたちは、2人の支援学級在籍児童に対してだけでなく、だれにも穏やかに接し、やさしさをさりげなく表せることが多くみられます。しかし、周りの目を気にしすぎて自分を出せなかったり、相手にわかってもらえるように粘り強く伝えることができなかつたりすることもあります。

4年生ともなると事の善悪もある程度判断でき、「こうしなくてはいけない」という道理も、頭では理解できるようになってきています。しかし、実際にはわかっているにもかかわらず正しく行動に移

しきれない気持ちも芽生える時期であるからこそ、本当の勇氣について考え、正しく行動に表そうとする態度を養いたいと思い、この主題に取り組みます。

### (3) 資料について (資料観)

本資料「勇氣のかんづめ」は、デパートで「勇氣のかんづめ」を買った「ぼく」の心情に寄り添って考えていくことで、「勇氣をもつ」ことの意味を心の中にしっかりと落とし込んでいくものです。まず、「かんづめ」の意味や中身を想像することで、勇氣が出せなかった自分や勇氣を出したい場面を明らかにしていきます。そのかんづめの値段や中身（中に入っていた紙切れに書かれた「ボクニタヨルナヨ。ヨワムシ」）に、子どもたちは衝撃を覚えることと思います。あまりの安さや、一見、決して自分を勇氣づけてくれる言葉ではないと思われるからです。しかし、この言葉にどのような意味があるのかを考えることにより、勇氣とは決して買えるものではないこと、自分自身が行動を起こすしかないことなどに気がついていくのではないかと考えます。

資料をもとにかんづめをみせることで、児童は興味を持って聞き、値段のことや自分ならいくつ買いたいかなどを本音で語り、等身大の自分に迫れると考えます。自分の弱い部分をあまり深刻にならずにさらけ出すことができ、ではどうしたらなかなか出ない勇氣を出すことができるのかを、みんなで考えていく活動をとおして、自分自身のこれからの行動を考えていってほしいと思います。

## 7. ねらい

勇氣とは、人に頼らずに自分自身で正しく判断して行動しようとする心であることに気づき、正しいと思うことには、勇氣を持って行おうとする態度を養う。

## 8. 本時の展開

学習活動	指導上の手立てと評価
<p>①何のかんづめか予想する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「ぼく」は信じられないような缶詰を見つけました。なんの缶詰だと思いますか？</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食べ物かな？</li> <li>・信じられないようなかんづめって？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「〇〇のかんづめ」と板書したのち、子どもたちが興味を持って学習に入っていけるようにかんづめを提示して、何のかんづめか予想させる。</li> </ul>
<p>②今考える「勇氣」とはどんなものか考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「勇氣」とはどんなものですか？また、勇氣を出してよかったことはありますか？</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こわがらないこと</li> <li>・思い切ってやること</li> <li>・授業で発言できたこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの体験を聞き取っていく。無茶するものではなく、ふだんの生活の中でみられる行為を大切にする。</li> </ul>

<p>③「勇気のかんづめ」前半部分を読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・そんなのあるわけないし、きっと中身ないよ</li> <li>・いくらで買えるのかな？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の前半部分を読み聞かせ、「ぼく」の気持ちを理解させるようにする。</li> </ul>
<p>④「勇気のかんづめ」の値段を予想させる。</p> <p>いくらで売っていたと思いますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高いと思う</li> <li>・2個買えるから安いかも</li> </ul> <p>この「勇気の缶詰」を買いますか？買うとしたらはいくつ買いますか(理由も)？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勇気が出るなら買いたい！</li> <li>・買わないかも…</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後段への意欲づけのための発問なので数人程度に留めておく。</li> <li>・ひとつ100円だと伝える。</li> </ul>
<p>⑤「勇気のかんづめ」後半部分を読み、入っていた紙に書かれていた言葉を予想する。</p> <p>中にはなにが入っていたと思いますか？その紙にはなんと書いてあったのでしょうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お守りかな？</li> <li>・勇気の出る薬かも</li> <li>・励ます内容が書かれていると思う 「勇気は目に見えないよ」 「勇気は心の中にあるんだよ」 「思い切って頑張ってください」</li> </ul> <p>なぜ、これが「勇気の缶詰」なのでしょう？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人や物に頼ってはいけない</li> <li>・勇気は自分で出すものだから</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の後半部分を読み聞かせる。</li> <li>・缶に入れてあった言葉を予想させて、ワークシート①に書かせる。(自分が書けてもらいたい文が表出されると考える)</li> <li>・紙切れのメッセージを提示。</li> <li>・言葉に込められたメッセージについて考えさせる(ワークシート②)。</li> </ul> <p>○自分が思っていた「勇気の言葉」との違いを考えることができたか(発表)。</p>
<p>⑦どうしたら勇気を出せるようになるか話し合う。</p> <p>もういちど、勇気とはどんなものか考えてみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勇気はお金で買えないもの</li> <li>・勇気は目に見えないもの</li> <li>・とても大切なもの</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出てこないようであれば、かんづめが100円で売っていたことから話を広げていく。</li> <li>・勇気が出るときと出ないときを出し合</li> </ul>

では、どうしたら、勇気が出せるようになるのでしょうか？

- ・まず思い切ってやってみる
- ・自信がないと勇気が出せない
- ・一人だとなかなか勇気が出せなかった
- ・だれかと相談する

「勇気」をもって行動できた経験やそのときの気持ちを紹介し合おう。

- ・自分にもできることがあって安心した
- ・自分の気持ち次第でできることがふえたりするんだな

い、勇気をだすコツについて自身の体験や学んだことを発表させる。このとき指導者が弱いところも受け入れて、本音の部分を引き出すようにする。

- 自分の中の勇気ある行動をみつけ、今後の生活へ生かそうとする気持ちになれたか（ワークシート③）。

## 9. 本時の評価

- ・自分が思っていた「勇気の言葉」との違いを考えることができたか。
- ・自分の中の勇気ある行動をみつけ、今後の生活へ生かそうとする気持ちになれたか。

## 10. 板書計画

6 / 19. 勇気のかんづめ

ボクニタヨルナヨ。ヨウムシ。

なぜ、これが勇気のかんづめなんだろう？

○ものにたよる自分 ↑ちがう

○自分で解決しなさい！

**勇気とは**

- お金では買えない
- 心の中にある
- とても大切

**勇気を出すコツ**

- 思い切ってやろう
- 自信を持つ
- いっしょにする
- 相談する

「授業で手を挙げられた」

思い切ってやること

「まいの紙 予想 君ならできる！ 自分を信じて！」

非常用  百円

- ・お守り
- ・アドバイス

安い？

高い？

どんな行動をとるかを選ぶのは自分自身

# 社会科学習指導案

吹田市立古江台中学校

授業者 阿部 千春

- 1 日時 2015年11月4日(水) 6限(14:35~15:25)
- 2 場所 本校3年2組教室 (D棟2階)
- 3 指導学級 第3学年2組36名
- 4 単元名 司法権「模擬裁判を体験しよう(強盗致傷事件)」(第3章 現代の民主政治と社会)
- 5 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の政治に関心をもち、多様な学習活動に意欲的に取り組んでいる。</li> <li>・裁判員制度をはじめとする司法改革に関心をもち、見通しを立てている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議会制民主政治の意義について考えるとともに、国の政治に関わる様々な事例から課題を見だし、その結果を適切に表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国会、内閣、裁判所について、様々な資料を収集し、資料を読み取ったり、図表にまとめたりすることができている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国会、内閣、裁判所のしくみと働きについて理解し、知識を身につけている。</li> <li>・三権分立のしくみと意義について理解している。</li> </ul>

## 6 生徒観

本学級の生徒は、素直で元気な生徒が多い。個性豊かであるが、体育大会などの大きな行事では、一致団結して盛り上がるができる。社会的事象についての関心が高く、ユニークな考えをもち授業中積極的に発言をする姿も多くみられる。女子は控えめであるが、個別に話しかけると、それぞれが自分なりの考えをしっかりと持っていることに気づかされる。一方、学力の面でしんどい生徒や、生活のリズムが整わず寝てしまいがちな生徒もいる。

今回の模擬裁判や評議は、普段の授業でなかなか取り入れることのできないものである。お互いに言葉を交わし合う活動を通し、さまざまなことを考え深めさせたい。

## 7 教材観

平成21年に裁判員制度が始まったことにより、一般の国民も裁判員として裁判に参加することとなった。司法へ民意を反映させる場となると同時に、重大な犯罪において国民が被告人の人生を左右する重要な判断を迫られることになるのである。

本教材を通して、生徒は、裁判員として関与する際にどのように考えていくことが重要であるかを学ぶ。その際、刑事事件における原則を知るにとどまらず、生徒同士が意見を出し話し合っ最終的な結論を出してゆく。つまり、物事を多角的に見ることの重要性を学び、結論のみにとらわれない論理的思考を養いたい。

## 8 指導観

本時のねらいは2つある。1つ目は、生徒が模擬裁判の実演、評議などの体験を通じて、刑事裁判の目的や手続きの内容、刑事裁判における重要な原則を理解することである。2つ目は、生徒が評議における論点の検討を通じて、物事を多面的に考察すること、自分の意見を明確に述べ、他人の意見を真剣に聴いて公平に理解すること、その上で多様な意見を調整し合意を形成し、公平な第三者として判断をする技能を身につけることである。

なお、模擬裁判の役に立候補した生徒12名を事前に集め、シナリオの原案を渡し読み合わせをおこなっている。役の設定や住所等については、十分に生徒らの人権を配慮した。

## 9 本時の目標(評価規準)

- ・模擬裁判に関心をもち、学習活動に意欲的に参加している。(関心・意欲・態度)
- ・必要な情報を取り出したり、争点を整理したりして、公正に判断し、その過程や結果を適切に表現している。(思考・判断・表現)
- ・無罪推定の原則など、裁判の基本的なルールを理解している。(知識・理解)

## 10 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価規準【評価方法】
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の復習をする。</li> <li>＊刑事裁判の重要な原則 「証拠裁判主義」「無罪推定の原則」</li> <li>＊裁判員裁判の手続きの流れ 起訴→公判前整理手続き→<u>審理</u>→<u>評議</u>→<u>判決</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時で使った図を用いながら復習する。</li> </ul>	

展開	<p>めあて：模擬裁判を体験しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配役のある生徒は、各々の席に移動する。</li> <li>・ワークシートについて確認する。</li> <li>・模擬裁判の実演</li> <li>・ワークシート【Step 1】に記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配役のない生徒は、裁判員になったつもりで参加するよう促す。裁判員として発言をしてもよいことを伝える。</li> <li>・個人的な感情ではなく、証拠をもとにした公平な立場で考えさせる。</li> </ul>	<p>裁判の様子を真剣に聴いたりメモしたりできている。</p> <p>【行動観察】</p> <p>証拠に基づいて争点を整理し、理由とともに有罪か無罪か、自分なりの考えをもつことができる。</p> <p>【ワークシート】</p> <p>「証拠裁判主義」「無罪推定の原則」に則って判断している。</p> <p>【ワークシート】</p> <p>自分の意見をグループの仲間に分かりやすい言葉・表現で伝えることができている。 【行動観察】</p>
	<p>めあて：グループごとに評議をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4名程度のグループに分かれ、評議をおこなう。</li> <li>・ワークシート【Step 2】に記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自由に意見を言ってよいこと、途中で意見や立場を変えてもいいことを伝える。</li> <li>・話し合いが円滑にすすまないグループがあれば、助言をする。</li> </ul>	
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次時の授業の流れについて確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・裁判員裁判と同じく7名のグループに分かれて評議、判決をおこなうことを伝える。(有罪ならば、刑の確定もおこなう)</li> <li>・ワークシートを回収する。</li> </ul>	

### 11 具体的な評価場面における判断のポイント

評価の観点【評価方法】	判断するポイント (A・B)
<p><b>関心・意欲・態度</b></p> <p>模擬裁判に関心を持ち、学習活動に意欲的に参加している。 【行動観察】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●おおむね満足 (B) と判断するポイント 必要な事ながらを取捨選択してメモをとり、自分なりの考えをもつ努力をしている。</li> <li>■十分満足できる (A) と判断するポイント 図や言葉を用いてメモをとり、筋道を立てて考えることができる。</li> </ul>
<p><b>思考・判断・表現</b></p> <p>必要な情報を取り出したり、争点を整理したりしている。【ワークシート】</p> <p>グループの仲間に対し、自分の言葉で分かりやすく意見を述べている。【行動観察】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●おおむね満足 (B) と判断するポイント 証拠に注目し、理由とともに有罪か無罪かを判断して文章を書いている。</li> <li>■十分満足できる (A) と判断するポイント 証拠に基づいて争点を整理し、有罪か無罪かを筋道を立てて考えた上で、文章にまとめることができている。</li> <li>●おおむね満足 (B) と判断するポイント 自分の意見を分かりやすい言葉や表現で伝え、仲間の意見をしっかり聴いて尊重したうえで、自分の意見を述べている。</li> <li>■十分満足できる (A) と判断するポイント 自分の意見を論理的に伝え、仲間の意見を受けた上での自分の意見を述べている。</li> </ul>
<p><b>知識・理解</b></p> <p>「証拠裁判主義」「無罪推定の原則」といった裁判の基本的なルールを理解している。 【ワークシート】【行動観察】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●おおむね満足 (B) と判断するポイント 裁判の基本的なルールに則って考えている。</li> <li>■十分満足できる (A) と判断するポイント 裁判の基本的なルールに則って考え、論理的にまとめることができている。</li> </ul>

# 第1学年 音楽科学習指導案

吹田市立古江台中学校  
授業者 梅若 かおる

- 1、日 時 平成27年11月4日(水) 6限  
2、場 所 第2音楽室  
3、学 級 1年3組 34名(男子18名、女子16名)  
4、題材名 物語を歌で表現する音楽のおもしろさを味わおう。  
教材名 「魔王」 シューベルト作曲(全二時間)

## 5、題材について

### (1) 題材の目標

曲の雰囲気を作り出している様々な音楽的要素を聴き取り、歌唱表現の豊かさやおもしろさを味わう。

### (2) 題材観

本題材は、学習指導要領第1学年2内容B鑑賞(1)「音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかわりを感じ取って聴き言葉で説明するなどして音楽のよさや美しさを味わうこと。」をねらいとして設定した。

鑑賞の授業では、単に音楽を表層的に快いとか、きれいだということにとどまらず、その音楽の内容を自ら知覚・感受し、自分なりに価値あるものとして意味を見出すことが求められている。共通事項を支えにしながら、楽曲を形づくる要素と曲想との関わりを感じ取らせることを通して、主体的に聴き、表現する態度を育てたいと考えている。

本題材ではシューベルト作曲の「魔王」を扱うが、劇的な詩と一人の歌い手が4人の人物を歌い分ける表現力、ピアノ伴奏の効果等、音楽の様々な要素があふれた魅力ある楽曲である。曲のイメージと楽曲を特徴づける要素の関連がわかりやすい楽曲であり、本楽曲を通して、聴く力、聴き取る力を高めることができると考えた。さらに、聴き取った要素を基に自分で表現し、その良さを伝える活動を取り入れることで、楽曲をより自分のものとしてとらえることができると考え、本題材を設定した。

### (3) 生徒の実態

本校の一年生は、小学校でもしっかり音楽活動に取り組んできた様子がみられ、歌唱においても積極的に取り組んでくれている。中でも3組は、音楽を好きな生徒が多く、授業中にも積極的な発言がよく見られる。

一学期の鑑賞は「春」を扱ったが、ソネットと音楽の関係を音の強弱や高低、音色を中心に考えさせ、大体の生徒が音楽の特徴をとらえて鑑賞することができていた。班で話し合うことで、さまざまな発見があった。今回の鑑賞では、発見した特徴、音楽の要素を実際に表現に結び付けていきたい。

### (4) 指導観

鑑賞の授業が生徒にとって楽しく、興味深いものとなるためには、ただ単に曲の美しさや楽しさだけを伝えるのではなく、何かが「聴き取れた」とか「わかった」と実感できる場面を作ることが大切である。「自分が感受したのはこのような要素によるものだったのだ。」、或いは、「この要素によってこのような雰囲気が醸し出されるのだ。」、ということに気づくことによって、音楽を主体的に聴き、味わう活動につながると考える。

今回の授業ではそれぞれの登場人物の声の特徴や変化を聴き取る活動を通して、曲の雰囲気を作り上げている様々な要素に着目させていきたい。要素(音色、旋律、強弱、リズム)同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取る能力を育てていきたいと考える。そして、これらの活動を受けて、自分で音楽のよさを表現する力を養うとともに、他者の考えを知ったり、共感しあったりする活動へとつなげたいと考えている。

## 6、評価規準

音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
①登場人物の声の特徴と曲想との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に意欲的に取り組もうとしている。 ②想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴に気づいて聴く学習に進んで取り組もうとしている。	①登場人物の声の特徴と曲想との関わりを、セリフに変化をつけて表現しようとしている	①登場人物の声の特徴と曲想との関わりを表現するため、セリフをはっきりと伝えようとしている。	①登場人物の声の特徴と曲想との関わりを感じ取り、そのよさを感じ取って聴いている。 ②音楽を形づくっている要素や曲想との関わり合いから想像したことや感じ取ったことなどを言葉で表すなどして、楽曲のよさや美しさを味わって聴いている。

7、題材の指導計画（2時間扱い）

時間配分	ねらい ○学習内容 ●学習活動	教師の働きかけ	評価規準 評価方法
第1時 (本時)	●詩「魔王」を読み、内容を理解する。 ●シューベルト作曲「魔王」を聴き、登場人物の声の特徴と曲想の変化を感じ取る。 ○登場人物の声の特徴を聴き取る。 ○声の特徴から、要素との結びつきを考える。 ○要素を理解し、楽曲全体を鑑賞する。	・鑑賞して聴き取った内容を確認しながら進める。 ・聴き取った音色の特徴や旋律の様子を基に、想像させる。	関・・・①観察 (取り組み・態度) 鑑・・・①ワークシート  関・・・②観察
第2時	○「魔王」の登場人物を演じる。 ●聴き取った要素を基にして、班で登場人物から役を分担し、声の特徴を表現する。 ●班で「魔王」のセリフを発表。 ○他班の発表を聴き、声の特徴と曲想の変化を感じ取る。 ●シューベルトについて知る。 ○作曲家、作詞者、楽曲について知る。 ○「歌曲の王」と呼ばれた作曲者の歌曲の魅力を知る。		関・・・②観察  創・・・①発表 技・・・①発表  鑑・・・②ワークシート

8、本時の学習

(1) 本時の目標

歌曲の鑑賞を通して、音楽を形づくっているさまざまな要素を聴き取り、人の声でいろいろなイメージが伝えられることを感じ取る。

(2) 本時の展開（1/2）

時間配分	○学習内容 ●学習活動	◇教師の働きかけ ◆評価規準
5分	●発声、ウォーミングアップ ○合唱曲「あすという日が」	◇心身のリラックス、身体を使った発声ができるよう声かけをする。 ◆観察・・・関心①
5分	●「魔王」歌詞を読む ○曲の内容をつかむ。 ○登場人物を確認する。 ○セリフを分けて読んでみる。	◇内容、登場人物がわかりやすいように、朗読する。
35分	●シューベルト作曲「魔王」を聴く。(2回) 一回目 ○登場人物の特徴をつかむ。  二回目 ○特徴と音楽の材料(要素)との結びつきを考える。 ○各班の発表をとおして、詩と音楽の結びつきを確認する。	◇一回ごとの鑑賞の目的を明確に指示する。  ◇要素(音色、旋律、強弱、リズム)の確認をし、結びつきを考えられるように声かけをする。 ◆観察、発言・・・関心② ◆プリント・・・鑑賞①
5分	●達成カードに本時の振り返りを書く。	◇次回へつなげていく。 ・本日のまとめ ・次回学習内容の予告

9、本時の評価規準

- 〈Bの判定規準〉・・・登場人物の特徴と要素の関わりを理解し、鑑賞できる。
- 〈Aの具体的な姿の例〉・・・登場人物の特徴と要素の関わりを理解し、セリフで表現できる。
- 〈Cへの支援〉・・・要素を具体的に示し、鑑賞の中で声かけを行う。

# 外国語活動 学習指導案

指導者 花谷 舞  
AET 村田 ニコラ

1. 日時 2016年2月25日(木) 14:30~15:15

2. 場所 1年2組教室

3. 学年・組 第1学年2組(児童数31名)

4. 単元名

「動物を知って遊ぼう」

5. 単元目標

- ①進んで動物の名前を使ったゲームに参加しようとする。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- ②動物の発音に慣れ親しむ。【外国語への慣れ親しみ】
- ③日本語と外国語の発音の違いを知る。【言語や文化に関する気付き】

6. 児童観

本学級の児童は、とても明るく、素直な児童が多い。好奇心も旺盛で、知りたい!やってみたい!と思うことに関しては、進んで取り組むことができる。3学期になり、少しずつ集中できる時間も長くなり、しっかりと話を聞ける児童も増えてきた。また、友だちの輪も広がり、グループでの活動にも進んで取り組んでいる。

外国語活動についても、月1回のペースで行い、ゲーム性のある活動を多く取り入れてきたことで子どもたちはとても楽しみにしている。また、AETと関わることが大好きで、廊下などで見かけると、積極的にあいさつを交わしたり、話しかけたりしている姿が見られる。

しかし、興味を持っていない活動に関しては、なかなか意欲的に取り組むことができない。ただ、楽しい活動になると、すぐに気持ちが高揚してしまい、落ち着きを取り戻すのに時間がかかってしまう。さらには、とても活発で、外国語に親しみを持っている児童も多い中、自信がなさそうに活動している児童も少なくない。そのような子どもたちも含めて、いかに楽しく興味を持って活動させていくかが今後の課題である。

7. 教材観

本単元では、elephant, bear, monkey, dog, rabbit, catの6つの動物を学習する。この6つを選んだ理由は、子どもたちが身近と感じる動物であり、尚且つ何気なくこれまでの生活経験の中で聞いたことがあるような英単語だからである。発音練習をしていく中で、これまで聞いてきた表現と実際の表現の違いに気付かせたい。また、第1時での動物当てクイズを行うということも考慮し、特徴的な部分があり、わかりやすいものを選んでいく。この動物当てクイズでは、ヒントを子どもたちで選ぶ活動があり、ヒントの出し方では、既習事項のfruitsやcolorを使った表現を取り入れている。1年生最後

の単元となるので、これまでの学習を復習する機会にしたいと考えた。また、**long nose** や **long ears** などの単語も取り入れてヒントを出すことで、まだ習っていない単語にも興味を持てると考えている。

## 8. 指導観

### 外国語活動の授業づくりにおいて大切にしたいこと

#### ① 使用表現の明確化・反復練習・リズムに合わせた発音・視覚的教材の活用

アクティビティを楽しむために必要な表現に慣れるよう、授業の中で扱う表現が多くなりすぎないように配慮する。また、新出表現の活用がその単元内だけで終わらないよう、短時間でも反復練習を行う。

#### ② 活動形態の工夫

どの児童も安心して参加できるように、始業のあいさつをはじめ、授業の流れを固定する。また、活動形態も全体・グループ・ペア・個人を組み合わせ、同じ表現でも複数の角度からアプローチできるようにする。

#### ③ 児童のがんばりを認め、意欲を高める

たとえ間違えたとしても、児童の一生懸命取り組んだ態度を認め、こまめに評価していく。活動を通して、達成感を味わわせながら、次への意欲を喚起していきたい。特に、校内で定めた目標「目をみて」「笑顔で」「身振り手振り」に関するがんばりは年間を通して認めていく。

### この単元に関する指導の工夫

授業の中に、映像や音楽を取り入れたり、絵本の読み聞かせやゲーム性のあるアクティビティを設定したりすることで、外国語に触れることの楽しさを感じさせたい。

本時では、まず導入で動画を取り入れた学習活動を行う。これは、本時における学習内容の把握と子どもたちの興味付けの2つの意味がある。楽しいリズムに乗って、動画を見ることで自然と単語を口ずさむことも考えられる。

次に本時に設定した指さしかるたゲームでは、児童が“**What ,What ,What is it?**”と問いかけ、教師の“**It's a ~**”という応答を聞き、当該カードを指さす。いきなり、かるた取りゲームをしてしまうと、苦手な児童は活動できなくなることも考えられるので、まずはペアで指さしゲームをし、全員活動を保障する。慣れてきたところで、ゲームを活発にするためにグループでのかるた取りゲームへと移行する。

また、毎時間の終わりに絵本の読み聞かせを設定した。低学年と言うこともあり、絵本の読み聞かせを行うことで、外国語を落ち着いて聞くことが有効であると考えた。1時間の終わりに設定することで、高まった気持ちを落ち着かせることにもつながると考えている。

第2時では、伝言ゲームを設定した。動物の名前を先頭の児童が聞き、それを順に後ろの児童へと伝えていく。最後の児童は、聞いた動物のカードを取り、動物の名前を言いながら黒板に貼っていく。「話す」「聞く」のどちらも含まれる活動であるため、この単元のまとめの活動としてふさわしいと考える。

以上の指導の工夫を通して、児童の外国語活動へ興味をもって、積極的に参加する態度を育てたい。

9. 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
動物を聞いたり、言ったりして、友だちと積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	アクティビティを通して、楽しみながら動物の名前を聞いたり言ったりしている。	外国語の動物の言い方で日本文化の中でなじみのあるものに気づいている。

10. 単元の指導と評価の計画

時	ねらい	新出表現	主な学習活動	評価規準 (評価方法)
1	動物の言い方を知る。	elephant, bear, monkey, dog, rabbit, cat,  What ,what ,what is it? It's a ~.	・チャンツ ・かるた ・紙芝居 (Brown Bear)	【気付き】 英語での動物の言い方を知り、日本語でも使われていることや、発音の違いに気付いている。 (行動観察・振り返りシート)
2	動物の言い方に慣れる。		・チャンツ ・以心伝心ゲーム ・伝言ゲーム「動物園を作ろう」 ・絵本 (From Head to Toe)	【慣れ親しみ】 動物を聞いたり言ったりしている。 (行動観察・振り返りシート)

11. 本時のねらい

○動物の名前を知り、進んで聞き取ろうとしている。

12. 本時の計画 (1/2)

	学習活動	指導上の留意点	準備物	評価
Greeting	Stand up please. /Yes! Hello,Niki. / Hello,Niki. Sit down please. /Yes!	・日直が尋ね、全員が答える。 ・簡単なあいさつを英語でやり取りさせる。		
Introduction	The Animal song を聞く。	・映像と音楽を聞きながら、何を学習するのかをつかませる。	Iphone TV HDMI 端子	
Topic	○めあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">どうぶつの名まえをしろ！</div>			

<p>Practice</p>	<p>○動物当てクイズをする。 elephant,bear,monkey, dog, rabbit, cat, をヒントをもらいながら、当てる。 出てきた動物の発音練習をする。</p> <p>○動物の名前の尋ね方を練習する。</p> <p>・ What ,what,what is it? ・ ----- , ----- , It's a ----- .</p>	<p>・まずは、シルエットクイズをする。(①elephant, ②bear) ・封筒にカードを用意し、ヒントを出しながら、どんな動物なのかを当てさせる。 (③ monkey, ④ dog, ⑤ rabbit, ⑥ cat) ・既習した数字を使いながら、ヒントを出すようにする。 ・チャンツの練習をさせる。 ・全員で尋ね方と答え方を AET と一緒に確認していく。</p>	<p>動物カード (掲示用)) 封筒</p>	<p>行動 観察</p>
<p>Challenge</p>	<p>○指さしかるたゲームをする。(ペア) C : What ,what,what is it? T : It's ----- . C : ----- , It's a ----- .</p> <p>言われたカードを指さす。 ○かるた取りゲームをする。(グループ)</p>	<p>・デモンストレーションをする。</p> <p>・指さしに慣れてきたら、かるた取りゲームに切り替える。</p>	<p>動物カード 1セット× 15グループ</p> <p>2セット× 8グループ</p>	
<p>Cool down</p>	<p>○絵本の読み聞かせを聞く。 Brown Bear を聞く。 振り返りカードを書く。</p>	<p>・AET が読み聞かせをする。</p>	<p>紙芝居</p>	
<p>Greeting</p>	<p>Stand up please. Thank you,Niki. / Thank you,Niki. See you. / See you.</p>	<p>・日直があいさつをする。</p>		

### 13. 板書計画

どうぶつの名まえをしろう！



# 保 育 指 導 案

吹田市立古江台幼稚園  
うさぎ組担任 喜田 啓子

日 時 平成 27年 5月 29日 (金) 12:40～13:40  
場 所 吹田市立古江台幼稚園 リズム室  
園 児 数 年長児 8名 (男児 3名 女児 5名)  
年中児 11名 (男児 7名 女児 4名) 計 19名

○活動 「新聞紙で遊ぼう！！」

## ○ねらい

- ・友達と一緒に、新聞紙を使って遊ぶことを楽しむ。  
(5歳児)
- ・自分の考えや思いを相手にわかるように話す。  
(4歳児)
- ・新聞紙を破ったり、集めたりして感触を楽しむ。

## ○内容

- ・新聞紙を破ったり、集めたりする。
- ・友達や教師にかけたり、かけられたりする。
- ・うちわや布を使って友達と一緒に新聞紙をとばす。
- ・新聞紙の池で遊ぶ。

## ○幼児の姿

(5歳児)

- ・うさぎ組の新しい環境にも慣れて、張り切って園生活を楽しめるようになってきている。
- ・ダンゴムシを集めて喜んだり、ザリガニやアオムシの生長にも興味をもち世話をしている。友達同士で知っていることを話し、4歳児にも伝えている。
- ・色水ジュース作りや、砂場での山、川作りなど自分の気持ちを伝えながら友達と一緒に遊ぶことを楽しめるようになってきている。  
反面、新しい遊びに興味をもてなかったり、自分で好きな遊びを見つけて遊ぶことが難しく好きな遊びの時間をもてあましている子どももいる。
- ・「ちょこっとタイム」(鉄棒や竹馬、大縄跳びなどを全員で経験する時間)で経験した鉄棒を自分なりに繰り返し楽しんだり、挑戦したりしている。
- ・自分の気持ちを素直に友達や教師に伝えることが難しく、園生活のなかで達成感や満足感を味わっていない子どもがいる。

(4歳児)

- ・身の回りの始末のしかたがわかり、自分でできることを自分でしようとするようになってきた。また、困ったことがあると教師を呼んで伝えられるようになってきている。
- ・喜んで登園してくる子どもが多いが、保護者と離れることに不安な様子の子もいる。

- ・興味のあることや、やりたいことを見つけて教師や友達と過ごすようになってきている。少しずつ名前も覚えてきており、遊びたいことや、友達も見つかってきている。
- ・新しい体操やゲームなど、わからない不安からか体や気持ちが動かない子どももいたが回数を重ねることでみんなと一緒に楽しめるようになってきた。

### ○題材について

- ・歌や手遊びが好きで、カエルの制作後は作ったカエルを持って踊って友達同士遊んでいる姿が見られた。「1匹のカエル」の手遊びも好きで、みんなで最後の池に飛び込むことを楽しんでいる。破った新聞紙を池に見立て、簡単なごっこ遊びを楽しめたらと考えている。
- ・4、5歳の異年齢の活動であること、言葉の理解や個人差の大きい集団で楽しく参加できる活動を考えた。とにかく夢中になって友達とかかわって遊んでほしい、気持ちを発散させてほしいと考えて設定した。

### ◆先生方へ

子ども達が今日の活動を通して、友達とどのようにかかわり自分の気持ちを伝えていたか、子ども同士の絡み合いはどうだったかを中心に見ていただくようお願いいたします。反省会では、子ども同士の関わり方について話し合いができたらと考えています。よろしくようお願いいたします。

### ○指導の展開

時間	幼児の活動	○援助 ●環境構成	準備物等
12:35 12:40	○トイレを済ませる。 ○リズム室に移動する。 ○集まる。 ○グループの友達と座る。  ○話を聞く。  ○特大新聞紙を1枚、取る。 ○グループの友達と新聞紙を破る。  ○3人や4人で、考えて破る。 ○何枚も新聞紙を取る。 ○小さく破ったり、長く破ったり、めちゃくちゃに破る。	○援助 ●環境構成 ●新聞紙は広げた物を4枚、のりで貼り特大サイズにする。 ○声をかけあって、自分達で集まれるようにする。 ○子ども達がやってみたいと思えるように話を進め、1人では破れないことに気づくようにする。  ○友達同士で一緒に持ったり、声をかけあって破っている姿を認め、周りの子ども達が気付けるようにする。 ○一人の子の気付きや発見が、みんなのものとなるように知らせたり、認めたりする。 ○何をしたら良いのか困っている子どもには、周りの子ども達が気付けるように声をかける。	・新聞紙 (1枚のサイズを大きくする。)
12:50	○かけたり、隠れたりして遊ぶ。	○破った新聞紙を友達や教師にかけたりする姿が見られたら、タイミング良く、全体に知らせる。	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「年中児」「年長児」など分かれて、新聞紙をかけあう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教師も子ども達と一緒に楽しみ新聞紙を通して、友達とかかわる楽しさを味わえるようにする。</li> <li>○男女、学年別に分かれて隠す楽しさ、かけられる楽しさを味わう。</li> <li>●子ども達が見える位置にうちわや布を置いておく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・うちわ</li> <li>・布</li> </ul>
13:20	<ul style="list-style-type: none"> <li>○布で飛ばしたり、うちわであおいだりして遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○誰も気付かないようであれば、教師を見つけ、子ども達に提案する。</li> <li>○子どもの言葉で、活動が進むように気付いたことや思ったことはクラスの友達に伝える場面を作る。</li> </ul>	
13:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>○カエルになって遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教師も一緒に楽しく歌を歌う。</li> </ul>	
13:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全員で手をつないで池を作る。</li> <li>♪「1匹のカエル」</li> <li>○全員で飛び込んで遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○興奮し過ぎて、危険がないように十分に注意する。</li> <li>○友達と声をかけあって、気持ちを合わせている姿を認める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミ袋 (2枚)</li> </ul>
13:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新聞紙を集める。</li> <li>○集まる。</li> <li>○思ったことや感じたことを言う。</li> <li>○保育室に戻る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○楽しく新聞紙を集められるように時間を決める。</li> <li>○活動を振り返り子ども達の思いに共感し、楽しい時間がもてたことを話す。</li> <li>○金曜日であることを確認して、スムーズに降園準備ができるようにする。</li> </ul>	
13:55	<ul style="list-style-type: none"> <li>○降園準備をする。</li> <li>○名札を外す。</li> <li>○トイレに行く。</li> <li>○カラー帽子、上靴を持ち帰る。</li> <li>○集まる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○持ち帰りの忘れ物がないようにする。</li> <li>○早く帰る用意ができた子ども達と楽しく待ちながら、全体の子を把握する。</li> </ul>	
13:55	<ul style="list-style-type: none"> <li>○挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○連絡事項、ケガなど保護者に漏れのないように伝える。</li> </ul>	

## ○反省

- ・友達と一緒に新聞紙を使って遊ぶことを十分に楽しんでいた。  
2、3人のグループでそれぞれ楽しんでいる姿が多く見られ、思ったことや気付いたことを全体に伝える場面はほとんどなかった。
- ・教師主導で活動は進んでいったが、要所では年長児が「～してみよう！」と全員に投げかけたり、友達の声を聞いて「一緒にやろう！」と誘ったりする姿も見られ、本時の活動のねらいは達成されたように思う。
- ・子ども達が保育室で楽しんでいる「カエルジャンプ」や「手遊び」をみんなで楽しんで活動を終わろうと考えていたが、子ども達の思いには全くなく指導案とは違う活動になってしまったが、結果としては良かったと思う。
- ・気持ちを発散させる活動として何度も「新聞紙」を使って遊んできたが、今年の実力目標達成のために視点を改めて環境や援助を考えたことは、とても勉強になった。  
また、視点を決めて先生方に見ていただき、子ども達の様子や友達同士のかかわりかた課題を職員全員で確認することができて良かった。
- ・遊びの中にも「流れ」や「辻褄」が必要で、教師のねらいはとても大切だが子どもの思いとリンクしていなければ活動は成立しないと感じた。子ども達が何に興味をもって、どんなふうを楽しむのか普段から様子をよく見ておかなければならない。子ども同士が自らかかわりたくなる「環境」や「保育」を積み重ねていくことが大切だと感じた。

## ○感想、指導、助言、など

- ・子ども達がワクワクして、教師の話に集中しているのがわかった。また、一人ひとりが自分の好きな遊び方を見つけて楽しんでいた。
- ・一人ずつ性格が違うように、楽しみ方もその子どもそれぞれで違う様子がよくわかった。  
クラスの子も同士を繋げていく保育、お互いを知り合う保育が必要である。
- ・特大サイズの新聞紙や、かけ声を全員言わせることでこれからの活動により興味をもって話を聞いていた。楽しく活動させるための導入が大切だと感じた。
- ・指導案とは違う形で保育は進んでいったが、それもまた必要なことだと思う。
- ・午後からの保育で、時間が長くなると集中力がきれて走り回ったりリズム室から出たりする子どももいた。
- ・教師の声かけや、かかわりを待っている子どももいる。普段の遊びや人とのかかわりの様子をよく見て、どの子どもも活動の楽しさが味わえるような配慮が必要ではないか。
- ・言葉の理解の差も見られた。今の時期、年中児は特に教師のかかわりで周りの友達に意識が向けられることも多い。遊び方や楽しみ方を、一緒に遊びながら伝えていくことで今日の活動のねらいはより達成されたのではないか。
- ・ふれあい遊びや言葉あそびなど限定した活動ではなく、日々の保育の中で人とのかかわりを見ていくことがとても大切。その子どもにあったタイミングで言葉をかけて認めていく必要がある。
- ・「新聞紙を破る」という活動だったが引っ張り合いをして遊ぶ子ども達もいて、運動遊びに通じるものを感じた。「引っぱる」という声かけではうまく体を扱えない子どももこのような「遊び」のなかで経験させることができるのではないか。
- ・古江台小学校から内田教頭と三谷教諭が保育を見てくださった。
- ・小学校では、破った新聞紙を繋げる活動をする。その前段階だと思って楽しく見せてもらった。
- ・学校では、先に先に指示を出して子どもをせかしてしまうことが多くなるので初心にかえってゆったり構え、子ども達と接していきたいと思う。

# 保育指導案

吹田市立古江台幼稚園  
りす組担任 眞鍋みのり

- 日 時 平成27年6月16日(火) 12:40～13:40
- 場 所 吹田市立古江台幼稚園 リズム室
- 園児数 年長児 8名 (男児3名・女児5名)  
年中児 10名 (男児6名・女児4名) 計18名

## ○主活動

- ・おみこしの飾り(蛇腹折りの扇)を作る

## ○ねらい

- ・クラスの友達と一緒に、おみこしの飾りを作ることを楽しむ
- ・おみこしができていく喜びを感じる

(5歳児)

- ・友達と声をかけ合って飾りを作ろうとする
- ・自分の考えや思いを友達に伝えようとする

(4歳児)

- ・友達と一緒に飾りを作ることを楽しむ

## ○内容

- ・蛇腹折りの扇を作る
- ・作った扇を友達とつなげて大きな扇を作る
- ・小さな扇をつなげて花を作る
- ・作った扇や花をおみこしに飾る
- ・おみこしを担ぐ

## ○幼児の姿

(5歳児)

- ・進級した喜びを感じ、年長児になったことへの自信をもっている子どもがいる
- ・自ら気づいて年中児に声をかけたり手助けをしたりする子どももいる
- ・鉄棒やサーキット遊びなどでは、友達の様子を見て、同じようにやってみようと挑戦する姿がみられる
- ・同年齢の活動には楽しんで取り組んでいるが、好きな遊びの時間には、同年齢の友達との遊びに興味をもてなかったり、友達と一緒に遊び込めなかったりなど好きな遊びの時間に充実感を味わっていない子どもがいる
- ・ルールのある遊びを理解して楽しむことが難しい子どもがいる
- ・自分の意見やアイデアを友達に伝えられる子どももいれば、うまく思いを伝えられなかったり一方的になってしまったりする子どももいる

(4歳児)

- ・少しずつ支度や物の始末の仕方がわかってきたが、時間差が大きい
- ・好きな遊びの時間には、落ち着く場所や遊びを見つけて楽しむ姿が見られるようになってきた。また、友達遊びに興味をもったり、かかわりながら遊んだりする姿も見られるようになってきた
- ・友達の名前を呼びながら朝の挨拶をしたり、まだ登園してきていない友達のことを気にかけて

- たりするなど、友達に興味をもち始めた子どもが増えてきた
- ・自分の思いをうまく表現できず、泣いたり怒ったりする子どもが多い
- ・「友達と一緒に活動する」「同じ場所にいる」など集団生活のきまりが少しずつわかりはじめているが、けじめをつけたり我慢したりすることが難しい子どもが多い
- ・いろいろな活動に楽しんで取り組むことができる子どもが多いが、集中して遊ぶことができる時間差が大きい

### ○本時の保育の設定理由について

現在、7月に開催する夏祭りに向けておみこし作りの取り組みを進めている。取り組みの中で特に年長児は、おみこしの設計図を書いたり、作りながら必要な物を考えて提案したりする子どもがいるなど、意欲的に取り組む姿が見られる。また、室内での好きな遊び時間には、工夫して作ったりすることに興味をもって楽しんでいる子どもが多く、その中で、友達と同じものを作ったり教えあったりする姿も見られる。

本時の活動では、視覚優位の子どもが多い中で、目に見えるものを通して友達とのかかわることのきっかけにしたいと考えている。おみこしの飾り作りを通して一人ひとりの活動が少しずつつながっていく楽しさを感じ、おみこしが完成していく喜びをクラスみんなで共感したいと思い、活動を設定した。

### ◆先生方へ

子どもたちが本時の活動を通してどのようにかかわりあっているか、また言葉でのコミュニケーションや理解が難しい子どももいる中でどのように思いを伝えあい、製作を楽しんでいるか、という様子中心に見ていただくようにお願いします。

反省会では、子ども同士のかかわり方の様子について話し合いができたかと考えています。その話し合いを通して必要な援助の方法を学び、今後の保育の中で活かしていきたいと考えています。よろしくお願いします。

### ○指導の展開

時間	幼児の活動	教師の援助・配慮	準備物
12:40	<ul style="list-style-type: none"> <li>○机とイスを準備しておく</li> <li>○排泄を済ませる</li> <li>○ペアの友達と一緒にリズム室に移動する</li> <li>○ペアの友達と座る場所を決め、製作版とのりを置く</li> <li>○教師の近くに集まって座る</li> <li>○話を聞く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○落ち着いて活動が始められるよう、始まる前に年長児と準備しておく</li> <li>○落ち着いて活動できるようペアをあらかじめ決めておく</li> <li>○興味をもって取り組めるよう、本時の活動を知らせる</li> <li>○見通しをもって取り組むことができるよう、完成した花を見せる</li> <li>○しっかり折り筋をつけていくことや、折り方など活動のポイントを知らせる</li> <li>○作った扇をペアの友達と張り合わせて1つの花を作ることを伝える</li> <li>○ペアの友達と教えあいながら製作するよう話をする</li> <li>○完成したらおみこしに付けることを伝える</li> <li>○手順を黒板に図示しておく</li> <li>○終了時刻を伝えておき、いくつ作って</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・机（5）</li> <li>・イス（18）</li> <li>・のり雑巾（5）</li> <li>・のり（個人）</li> <li>・製作版（個人）</li> <li>・黒板（1）</li> </ul>

12:50	<p>○折り紙を選ぶ</p> <p>○蛇腹折りの扇を作る</p> <p>○ペアの友達と貼り付けて花にする</p> <p>○おみこしに貼る</p>	<p>もよいことを知らせる</p> <p>○自分の使いたい色を伝えたり、相談したりしながら折り紙を選べるよう声をかける</p> <p>○友達と教えている姿を認め、周りの子どもが気づけるようにする</p> <p>○戸惑う子どもには個別に声をかけたり、ポイントを再度知らせたりする</p> <p>○友達と一緒に1つのものを作る喜びに共感する</p> <p>○貼る場所をペアの友達と相談するよう声をかける</p> <p>○しっかり接着できる様子を見守り、必要に応じて援助する</p> <p>○けがのないよう土台の持ち手に注意して、貼りに行くよう伝える</p>	<p>・折り紙（いろいろな色を用意しておく）</p> <p>・おみこし（1） （机の上に乗せておく）</p>
13:10	<p>○集まって座る</p> <p>○次の活動について聞く</p>	<p>○作った花をみんなで見て、完成していく喜びに共感する</p> <p>○大きな扇を作る期待を感じられるよう、画用紙を見せる</p> <p>○折り辛さや両面に色がついていることなど、折り紙との違いを知らせる</p> <p>○友達と声をかけあいながら気持ちを合わせて折る大切さを伝える</p>	<p>・画用紙（8）</p> <p>・画板（8）</p>
13:15	<p>○画用紙を1枚選ぶ</p> <p>○画板の上で大きな扇をペアの友達と協力して折る</p> <p>○ほかのペアの友達と貼り合わせる</p> <p>○貼り合わせたものをおみこしに飾る</p>	<p>○しっかり折り筋をつけているか様子を見守り必要に応じて個別に声をかける</p> <p>○協力して貼り合わせことができるよう声をかけたり、友達と力を合わせている姿を認めたりする</p>	
13:25	<p>○おみこしを担ぐ（5歳→4歳）</p> <p>○集まって座る</p> <p>○活動の振り返りをする</p>	<p>○安全に担ぐことができるよう、身長や持つ場所に配慮する</p> <p>○年齢に合わせて担ぐ距離を変える</p> <p>○見ている学年は担いでいる友達を応援できるように教師も一緒に盛り上げる</p>	
13:35	<p>○片付ける</p>	<p>○活動を振り返り、みんなで友達の思いに共感できるような言葉がけをする</p>	
13:40	<p>○保育室に戻る</p>	<p>○片付け方を具体的に知らせる</p> <p>○協力して片付けができるよう声をかける</p> <p>○忘れ物がないよう、自分の保育用品を持ち帰る</p>	

## ○反省

- ・子どもたちが興味をもって楽しんでいる「おみこし作り」を本時の主活動に設定したため、楽しんで取り組む姿が見られた。
- ・5歳児の「友達と声をかけあって飾りを作ろうとする」というねらいは、自分のことで精一杯であったり、5歳児の声掛けについていくことが難しい4歳児がいたりするなど達成することが難しかったように思う。
- ・ペアで活動したことで、5歳児が4歳児を引っ張っていこうとする姿が見られた。また4歳児の中には教師が声をかけるより、友達に声をかけてもらうことで落ち着いて活動に取り組める子どももあり、新たな気づきとなった。
- ・子どもが何に興味をもっているか、何を求めているかを感じ取り、保育を組み立てていくことが大切であると感じた。子どもが「教師に思いを受け止めてもらえた」という安心感や喜びを感じることが、自分の思いを積極的に伝えようとするにつながっていくと思う。今後はより一層、一人ひとりの思いを丁寧に受けとめていくようにしたい。友達とかかわっていく中で、友達の様子に気づいたり友達同士で声をかけ合ったりするようなクラスにしていきたいと思う。

## ○感想、指導、助言、など

### 【活動について】

- ・席が決まっていなかったため、モデルになる子どもがいないテーブルがあり、ペアごとに席も決めた方がよかった。
- ・蛇腹折りの導入では、1回ずつ折る回数を確認しながらモデルを示すようにすればよかった。
- ・花を作る時の折り紙の枚数を限定せずに、何枚の折り紙ではこのような花ができるというモデルを示し、ペアごとに決めるようにするとよかった。教師が柔軟な考えをもって教材研究をすることが大切である。
- ・折り紙の次に画用紙の蛇腹折りをしたことで、折りにくいはずの画用紙を折り紙より短い時間で折ることができたペアが多く、活動の積み重ねが大切であると感じた。
- ・活動が2つあったため、時間差ができた。そのような時は全員が次の活動にすすめるように、1つめの活動にきりをつけてあげられるように終了を知らせるようにするとよい。

### 【子ども同士のかかわりについて】

- ・活動に参加することが難しい子どもには、「この中でどこをみんなと一緒にさせるか」という個別のねらいをもつことが必要であり、ペアの子どもにも「一緒にいないとできない」というメッセージを伝えることが大切である。
- ・ペア活動にしたことで、5歳児が4歳児をなんとか引っ張っていこうとする姿が見られた。子どもの力を借りて保育をすることも大切である。
- ・思いもよらないペアが新しい出会いになる。いろいろな友達とかかわることができる活動を設定することが大切である。
- ・ペア活動において「教えてあげる」と「一緒にする」は別である。

### 【教師の援助について】

- ・子どもの声を拾って全体に広げていったり、子どもの思いに応じて臨機応変に保育を展開していったりすることが大切である。
- ・活動の途中に全体へ声をかける時には、子どもが「聞く姿勢」になってから声をかけるようにした方がよい。
- ・子どもたちが「自分が考えた」と思えるように言葉がけをすることが大切である。
- ・全体を把握して活動をすすめていくことが大切である。
- ・子どもを認める時は、他の子どもにもわかるように認めていくことが大切である。

## 事務連携部

### H27年度「幼小中一貫教育における事務職員の役割」

古中ブロック事務連携部は、平成18年度にスタートし、10年が経過しました。

今年度は、津雲小1名、古小1名、古中1名の3名で、活動しました。事務連携部では、下記のように、推進委員会を含めた幼小中一貫教育活動の連絡・調整・記録・発信（周知）などの役割を担っています。また、推進委員会の前に事務連携部会を開き、直接顔を合わせ話をする中で3校の学校事務効率化を図ること、業務の相互支援を行っています。

#### ■ 推進委員会内の役割

- ①月1回定例開催されている推進委員会の会議録を「ジョイント+++プラス」として作成し、会議内容を中学校ブロックの全教職員で共有できるようにした。
- ②中学校ブロックの全教職員で参加する夏季・冬季合同研修会の案内作成、連絡、準備、受付、記録などを担当し、保存用資料として残した。また、夏季・冬季合同研修会を含む活動内容を学期ごとに「JOINT」として作成・周知するための連絡・調整などを行った。
- ③「研究報告集」の編集印刷作成を担当、保存用資料として残した。
- ④ブロック幼小中一貫教育推進事業予算会計を担当した。

#### ■ 職務に関わる連携（「事務連携部会」での内容）

- ①ブロック推進委員会での会議内容を確認し、役割分担を行った。
- ②財務会計や教科書の新しいシステムに関することについて情報交換・意見交流し、適正な事務処理の共通認識を図った。
- ③市や府の監査での確認項目をもとに情報交換し、お互いの事務支援につなげた。
- ④事務・学校運営に関わる校内体制について情報交換・意見交流し、効果的な運営などの共通認識を図った。
- ⑤中学校の入学説明会・入学に向けて、小学校名簿データの提供や内容の交流などを実施し、スムーズな入学準備につなげた。
- ⑥幼小中一貫教育推進につながる事務連携を模索した。

取り組みの継続として、研究授業や合同研修会、「言語力育成モデル」の見直しなど、ブロックとしての幼小中一貫教育推進のための活動に関わることができました。また、昨年度立ち上げた古中ブロックのホームページのデータ更新も随時行ってきました。今後とも内容の作成や更新作業において事務連携として関わりを持つように考えています。このような活動の一方で、各校の時間調整・確保が難しくなっていることも現状であり、運営などに一層の工夫をする必要があります。

今年度始められたブロックの小学校2校における外国語活動の特例校に対して、事務連携として特例校に関しての意識を持ち、職性を活かしながら情報の共有を図ります。今後も、幼小中一貫教育推進、ブロック共通テーマにつながる活動、各校の学校経営・学校事務の充実につながる活動を行います。

(言葉での思考の深め方)		幼小中一貫教育における「言語力の育成」をめざした授業づくりのために			
内容/発達段階	幼稚園	小学校(低学年)	小学校(中学年)	小学校(高学年)	中学校
めざす子どもの姿 (主体は子ども)	○自分の思いを出して友だちとかかわって遊ぶ	○体験の中で様々な言葉を知っている	○自分で使える言葉をもっている	○意図・目的にそった説明する言葉を持っている	○各教科の専門用語を理解し、課題を発見し、自ら課題を解決していく言葉を持っている
具体的な 子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活に必要な言葉がわかる</li> <li>絵本や物語などに親しみ、先生や友だちと心を通わせる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科学習の中で必要な言葉が理解できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えや思いを言葉にすることができる</li> <li>教科特有の言葉について理解することができる</li> <li>事象に対する考えについて教科の言葉を使って説明することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>双方向のやり取りを行なうための言葉を持っている</li> <li>教科特有の用語について理解することができる</li> <li>事象に対する考えについて教科の言葉を使って説明することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>議論して、問題解決するための言葉を持っている</li> <li>各教科の専門用語について理解することができる</li> <li>論理的に分析・評価する言葉を持っている</li> </ul>
大切にしていくこと (主体は指導者)	*一人ひとりの子どもの思いをじっくりと聞く	*豊かな言葉に触れさせ、正しい言葉よい言葉を見つけさせるようにする	*言葉を意識して使えるように指導する *気持ちが変わるように書かせる	*わからない言葉をそのままにしないように指導する	*各教科の専門用語や単語を理解させ、学力の土台として定着させる
幼小中の実践例 (具体的取組)	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師の話や話を聞く</li> <li>絵本や物語の読み聞かせ</li> <li>集団遊びをする中で、ルールを話し合う</li> <li>描いたり、制作をする</li> <li>歌を歌ったり、合奏を経験する</li> <li>楽器の名前を覚える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>読書 音読 暗唱</li> <li>視写 聴写</li> <li>観察カード</li> <li>絵本の読み聞かせ</li> <li>言葉集めゲーム</li> <li>豊かな言葉を取り上げ、評価</li> <li>感情表現する言葉</li> <li>教科の用語や定義を知る</li> <li>既習事項や用語をいつも目に触れるように掲示しておく</li> <li>用語や既習事項を何度も繰り返し、指導する</li> <li>聞き名人のルールを意識させる</li> <li>感想の言葉カード</li> <li>手遊び</li> <li>しりとり</li> <li>ふわふわことば</li> <li>気持ちカードの使用</li> <li>伝言ゲーム</li> <li>「はじめ」「中」「終わり」の構成を意識</li> <li>イメージマップの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>読書 音読 暗唱(話す・聞くスキルを使って)</li> <li>「言葉のポケットノート」を作り、国語に限らず読書や他教科で出てきた言葉の意味を調べて記録していく</li> <li>ゲーム要素を取り入れて辞書引きに慣れる</li> <li>国語の各単元の学習計画に「意味調べ」を入れ、語彙を増やしていく</li> <li>「はじめ」「中」「終わり」の構成を意識して、文章(物語文、説明文、感想文)が書けるようなワークシートを作成する</li> <li>漢字やローマ字の反復練習をする</li> <li>音読を通して言葉の発音、言い回しに慣れる</li> <li>音読名人のルールを意識させる</li> <li>朗読を通して言葉を音で覚える</li> <li>教科の用語や定義を知る</li> <li>算数、理科で、用語を用いて記述することを意識させる</li> <li>既習事項や用語をいつも目に触れるように掲示しておく</li> <li>用語や既習事項を何度も繰り返し、指導する</li> <li>聞き名人のルールを意識させる</li> <li>自分だけの国語辞典を作る</li> <li>音読対決</li> <li>音読発表会</li> <li>国語辞典(赤線・ふせん)の活用</li> <li>ことわざ、故事成語ブックを作り語彙力を増やす</li> <li>詩の指導を通して擬態語、擬声語を考える</li> <li>読書「5000ページの旅」を設定し読書を進める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>読書 音読 暗唱</li> <li>「言葉ファイル」の活用</li> <li>短文づくり</li> <li>音読(音読対決) 暗唱</li> <li>辞書活用</li> <li>(国・社では、特に使用→授業時、机に置いておき、即活用)</li> <li>「言葉の宝箱」を活用し、言葉の意味や表現技法を学ぶ</li> <li>教科の用語や定義を知る</li> <li>既習事項や用語をいつも目に触れるように掲示しておく</li> <li>用語や既習事項を何度も繰り返し、指導する</li> <li>聞き名人のルールを意識させる</li> <li>日記指導</li> <li>言葉の言い換え</li> <li>短歌・俳句づくり</li> <li>俳句や物語文の暗唱、朗読</li> <li>辞書引きの宿題を定期的に出す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【国語】</li> <li>辞書・便覧・読書・新聞・音読・コミュニケーション</li> <li>自分が知らない言葉に積極的に触れる</li> <li>文章全体を対象とした課題を工夫する表現や構造にもこだわる</li> <li>評価したり、批評したりしながら読む「しかけ」に工夫しながら、読みを深める</li> <li>文章全体の表現や構造に注目する</li> <li>評価したり、批評したりしながら思考し、読みを深める</li> <li>「書くこと」によってまとめたり、発信したりする学習スタイルを常態化する</li> <li>【社会】</li> <li>社会的事項の語句を学習する</li> <li>グラフや写真などの資料から読みとれることをまとめる</li> <li>【数学】</li> <li>用語の意味の確認を数多く行う</li> <li>多様なテキスト(式・表・図・グラフなど)で問題を提示する</li> <li>系統立てた反復により基礎・基本の定着を図る</li> <li>記述を求めず、口頭で説明させる</li> <li>【理科】</li> <li>教科書やワークシートの音読をしっかりとさせる</li> <li>なぜそうなるのかという問いかけを大切にしている</li> <li>理料的な言葉で説明させる</li> <li>大切な用語等はクラス全員で発音する</li> <li>体験活動の充実；観察・実験や様々なコンテンツから自然現象についての情報を発信する機会を充実させる</li> <li>【音楽】</li> <li>自ら感じたことや自分なりに解釈したことを言葉に表す</li> <li>音楽を形づくっている要素や構造を理解する</li> <li>【美術】</li> <li>色・構造・色彩；言葉に置き換えて伝えあう</li> <li>【技術・家庭】</li> <li>自分の考えや感想を書き、グループで発表し合い、交流する</li> <li>技術科；実践的・体験的な学習活動により、実感を伴って語彙の意味を理解して習得させる</li> <li>家庭科；体験と言葉をつなぐ、体験し言葉の意味を理解する体験したことを言葉で振り返る</li> <li>【保健体育】</li> <li>作戦会議等コミュニケーションを増やす</li> <li>各種目の専門用語を覚える</li> <li>技術、戦略、ルールなどへの理解</li> <li>健康・安全に対する理解と配慮</li> <li>動や直感、経験に基づく知恵の獲得</li> <li>【英語】</li> <li>授業で習った表現を繰り返し練習し、小テストなどで定着を図り、語彙力を高める</li> <li>4技能をバランスよく取り入れる(ルーティンワークとも関連づける)</li> <li>ペア、グループワークを通し、コミュニケーション能力を育成する</li> </ul>
期待される成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師や友だちと一緒に行動したり、やりとりをしたりすることを通して、次第に日常生活に必要な言葉がわかるようになる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中、発表するときの言葉のバリエーションが増えてきている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「言葉のポケットノート」の自分の調べた言葉の意味を繰り返し見て言葉の意味を知る機会が増えた</li> <li>毎日の音読学習で物語文を暗唱できる児童も増えてきた</li> <li>行事ごとの作文に、自分の気持ちが伝わるように書くことができるようになってきた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい言葉を知る、手にすることに対する意欲向上がみられる</li> <li>分からない言葉がなくなることで、文章内容の理解がしやすくなった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学ぶ喜びを体験することによる生涯にわたって学んでいこうとする態度を育成する</li> </ul>

(言葉での思考の深め方)		幼小中一貫教育における「言語力の育成」をめざした授業づくりのために			
内容/発達段階	幼稚園	小学校(低学年)	小学校(中学年)	小学校(高学年)	中学校
めざす子どもの姿 (主体は子ども)	○自分の思いを出して友だちとかかわって遊ぶ	○型に沿った表現をすることができる	○自分の考えを伝えるために表現することができる	○目的や相手を意識して表現をすることができる	○体験から感じ取ったことを表現することができる ○事実を正確に理解し伝達することができる ○概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用することができる
具体的な 子どもの姿	・生活の中で必要な言葉を使うことができる	・表現方法をまねて、自分や身近な人やものに置き換えることができる	・自分の考えや意見にあった言葉を探して表現することができる	・目的にあわせて効果的に表現できる	・友だちの意見を聞いて、自分の考えをまとめる表現することができる ・議論することができる
大切にしていこうこと (主体は指導者)	*一人ひとりの子どもに応じた言葉がけをする	*基本の型を身につけられるようにすること	*言葉に立ち止まって考える時間を設定する *考えをはっきり伝えるために表現する *文章の組み立てを考えさせる *筋道を立てて考えさせる	*発表や表現の機会を多く提供する *多くの文章を継続的に声に出して読むことで、さまざまな表現方法を身につけられるようにする *効果的に書くためのモデル(型)を提示する *教え合いの機会を多く提供する	*学習した専門用語を用いて、「書く」「話す」などの表現活動をする *表現活動には一定の「型」を示し、パターン化した練習を取り入れる
幼小中の実践例 (具体的取組)	<ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつをする</li> <li>「入れて」「貸して」「いいよ」等の遊びの中で必要な言葉を使う</li> <li>歌の歌詞の意味を知る</li> <li>じゃんけんをする</li> <li>描いたものや制作したものの説明をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字学習での文作り</li> <li>日記</li> <li>スピーチ 対話</li> <li>グループでの話し合い</li> <li>言葉あそび(クイズ)</li> <li>教科書の手引きにそった言葉の活用</li> <li>言葉、式、図を使って、自分の考えを伝える</li> <li>文章題の問題文を子どもたちに作らせる</li> <li>教材に合わせてペア・グループ、クラス全体で伝え合う</li> <li>発表がんばりカードを活用する</li> <li>話し名人のルールを意識させる</li> <li>話し合いのルールを意識させる</li> <li>体験したことや学んだことを他学年に伝える</li> <li>図工の作品鑑賞で感想を伝え合う</li> <li>「はじめに」「つぎに」など、文章の言い方(話型)を提示する</li> <li>質問、感想を述べる。メモをとる。一行日記。</li> <li>「はじめ」「中」「おわり」を意識したお話づくり</li> <li>音読劇やオペレッタへの発展</li> <li>本を紹介するリーフレットづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「書く」の領域を利用して接続詞や文末表現を身につける</li> <li>日記</li> <li>教科書の「言葉のちから」を意識して学習し、学んだ「言葉」を教師に提示し、いつでもその言葉がつかえるようにする</li> <li>発表の際、算数用語を使い、自分の考えを伝える</li> <li>算数用語を意識させる</li> <li>教材に合わせてペア・グループ、クラス全体で伝え合う</li> <li>発表がんばりカードを活用する</li> <li>話し名人のルールを意識させる</li> <li>話し合いのルールを意識させる</li> <li>文の組み立てを考える</li> <li>体験したことや学んだことを他学年に伝える</li> <li>作文のための文の組み立てを考えるワークシートを作成し冊子に綴じ常にそれを参考にして作文が書けるようにする</li> <li>定期的に生活作文を書いて、「自分の考え」を常に意識する</li> <li>お礼の手紙で相手意識・目的意識をもたせる</li> <li>体験活動のふり返り・記録を文章でまとめる</li> <li>異学年間で調べたことなどの伝え合いの機会を設ける</li> <li>授業のふり返りを書かせる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国語の教科書にある手引き「言葉の使い方」を資料としてまとめて配布</li> <li>「書き方マニュアル」を作成し、配布</li> <li>資料を活用した文章を型を参考にしながら書く</li> <li>多様な解き方を考え、まとめたり、発表させたりする</li> <li>解決の仕方を全体に伝える</li> <li>隣同士やグループでの教え合い学習で、友だち同士教え合う</li> <li>友だちの考えを伝えさせる</li> <li>教材に合わせてペア・グループ、クラス全体で伝え合う</li> <li>発表がんばりカードを活用する</li> <li>話し名人のルールを意識させる</li> <li>話し合いのルールを意識させる</li> <li>報告会、伝え合いの会等で、体験したことや学んだこと、調べたこと、自分の意見を他学年に伝える場を持つ</li> <li>日記指導</li> <li>既習事項をまとめた「表現ヒントファイル」を作成し活用する</li> <li>話し合い活動において、司会カードを活用させる</li> </ul>	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発表したり書いたりする機会を増やす</li> <li>論理的に展開するために「まず」「次に」など順序立てる言葉を用いる</li> <li>小グループで話し合う場面を設定し、考えを交流・共有できるように工夫する</li> <li>プレゼンテーションの機会を多くする</li> </ul> <p>【社会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>テストや練習問題で記述問題に取り組む</li> <li>表現の仕方、レポートのまとめ方</li> </ul> <p>【数学】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的パターンの練習</li> <li>説明の中で、繰り返し重要な言葉を使う</li> <li>何を根拠としているかを明確にしながら話しを進める</li> <li>日常生活と関連つけた問題場면을提示する</li> <li>発展的学習を充実させるために教材を精選する</li> </ul> <p>【理科】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>筋道を立てる</li> <li>言語活動(記録・要約・説明・論述・討論・発表など)を充実する</li> <li>レポートなどに「理学的な言葉」を使って作成する</li> </ul> <p>【音楽】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音楽が形づくっている要素や構造などを理由としてあげながら音楽のよさや美しさについて述べ、自分にとっての価値を明らかにする</li> </ul> <p>【美術】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>色・構造・色彩をいかした表現活動</li> </ul> <p>【技術・家庭】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループで話し合ったことをまとめて、分かりやすく発表する</li> <li>技術科：言語を活用し、理解の解決をめざす</li> <li>家庭科：相手に合わせたコミュニケーションを思考し、実践する</li> </ul> <p>【保健体育】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>専門用語を使って表現する</li> <li>ダンス等で計画表を作成する(課題解決に向けての検討)</li> <li>資質・能力の向上(自分の状況にあてはめて活用する)</li> </ul> <p>【英語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>習った単語や文法を使い、ペアワークやパターンプラクティスで定着させる</li> <li>ICTを積極的に取り入れることで、学習事項の理解を深める</li> <li>伝えたいこと、話したいことを実生活に即した形で表現する</li> </ul>
期待される成果	・絵本を見たり、物語を聞いたりして楽しみ、そこで想像上の世界に出会い、様々な思いを巡らし、その思いなどを教師や友だちと共有したりする	・相手に伝わるように言葉を選んで発表できるようになる ・基本の形にそった文章を書くことができる	・教室提示によって、つねに意識してその言葉を使おうとする児童が増え、他教科では学んだ言葉を使って発表することができていた ・考えたことを順序立てて文章にすることができるようになった	・学んだことを活用し、文章化することへの抵抗が減ってきている ・「～から分かるように」「資料～は、～を表したものです」などの言葉を活用しながら自分で文章が書けた	・コミュニケーション活動の重要視により、互いに問題を共有しあい、互いが生きていくことの重要性を感じる態度を育成する ・自己理解のための活動の重視、社会生活との関わりの中で、自分の生き方を考える力を育成する

言葉の増やし方  
習得(知識・技能)



言葉の使い方(運用)  
活用(表現・言語活動)



言葉での思考の深め方  
探究(活用・思考力・判断力・表現力)

(言葉での思考の深め方)

幼小中一貫教育における「言語力の育成」をめざした授業づくりのために

内容/発達段階	幼稚園	小学校(低学年)	小学校(中学年)	小学校(高学年)	中学校
めざす子どもの姿 (主体は子ども)	○自分の思いを出して友だちとかかわって遊ぶ	○気づきや感想、考えを伝え合うことができる	○根拠をもとに自分の考えを伝え合うことができる	○自分の立場を明確にし、他者の考えと比較しながら、自分の考えを伝え合うことができる	○課題について、構想を立て実践し、評価・改善することができる ○互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させることができる
具体的な子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の思いを言葉にすることができる</li> <li>友だちの話しに興味を持って聞き、共感することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の気づきや感想、考えを伝え合うことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>根拠をもとに自分の考えを伝え合うことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の立場に明確にすることができる</li> <li>意見交流を通して、視野をひろげることができる</li> <li>さまざまな意見を踏まえた上で、自分の考えを深めることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>考え、判断し問題解決に導くことができる</li> </ul>
大切にしていくこと (主体は指導者)	<ul style="list-style-type: none"> <li>友だちとかかわりをとらえ、それに応じた言葉かけをし、言葉を交わす喜びを味わえるようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉を使って思いや考えを説明する場面を設定する</li> <li>「わかい」を視点に、選択させる</li> <li>「わかりやすい、かんたん、いつでもできる」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>場面に対して、ふさわしい言葉を用いながら自分の考えを説明させる</li> <li>言葉はおもしろいと思うこと、言葉を好きになること、よりふさわしい言葉を使おうとすることを意識する</li> <li>「わかい」を視点に、考えを整理する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他者の考えと自分の考えを比較し、共通点、相違点を理解させるようにする</li> <li>他者の意見をもとに自分の意見を深める、個の振り返りの時間を大事にする</li> <li>「わかい」を視点に、考えを修練する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まとめたり、比較したり、評価したり、言葉を用いた活動を通して思考力を深める</li> <li>思考スキルを活用する(シンキングツールの活用)</li> </ul>
幼小中の実践例 (具体的取組)	<ul style="list-style-type: none"> <li>じゃんけんで勝ち負けを認識する</li> <li>集団遊びをする中で敵や味方を認識し、友だちとの関わりをもつ</li> <li>自分の思いを絵や制作物で表現し、教師や友だちを伝えることができるようになる</li> <li>楽器の扱い方について相談する</li> <li>いい声で歌うことの大切さに気付く</li> <li>絵本や物語のお話の世界を楽しみ、劇あそびをする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気づきや考え方、感想等を書く</li> <li>式、絵、表を言葉で説明する</li> <li>考えの理由になることをはっきりさせ、説明する</li> <li>イメージ化させやすい身近な題材を提示する</li> <li>友だちの考えと自分の考えを比べながら聞く</li> <li>スピーチカードや話型を提示する</li> <li>言語を動作化させる</li> <li>五感を意識させたカードを使う</li> <li>想像に合った言葉を使い、物語を書く</li> <li>グループでの発表、お互いに評価し合う、自己評価・相互評価</li> <li>ペアで交流、班で交流、クラスで交流などの形態をとりながら相手にわかる説明をすることで自分の思考を整理する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3年生、4年生で学ぶ、紹介文、記録文、生活感想文、案内文、調査報告文、広告等の説明文、身のまわりのニュースなどで用途に合わせた言葉を使って文を書く</li> <li>書いた分を友だちと読み合い、感想を出し合う</li> <li>考えの理由になることをはっきりさせ、説明する</li> <li>イメージ化させやすい身近な題材を提示する</li> <li>友だちの考えと自分の考えを比較しながら話し合う</li> <li>ミニ討論会</li> <li>各教科の中でキーワードを使った学習のまとめを書き、伝え合う</li> <li>場面に応じた言葉に、折にふれ直させる話し言葉と書き言葉の違いをはっきりさせる</li> <li>二人で交流、班で交流、クラスで交流などの形態をとりながら相手にわかる説明をすることで自分の思考を整理する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パネル討論</li> <li>算数などで考え方を言葉で書く</li> <li>各教科で学習のまとめや感想を継続的に書く</li> <li>考えの根拠になることをはっきりさせ、説明する</li> <li>イメージ化させやすい身近な題材を提示する</li> <li>友だちの考えと自分の考えを比較しながら話し合い、自分の考えを深める</li> <li>クラス交流で指名なし発表を取り入れる。自分の意見とほかの人の意見を比べながら聞き、自分の立場を明確にして相手に伝えるように意識する</li> <li>作文を書く前に、イメージマップを書き、そこから書きたい事柄を選んだり膨らませたりする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【国語】</li> <li>2つ以上のものを比較して共通点や相違点を見つける</li> <li>文学的文章において、多様な視点や観点に立って、既習事項を用いて課題問題を解決する</li> <li>要旨をとらえ、自分の考えを深める</li> <li>【社会】</li> <li>レポート力、ノートなどのまとめ力の育成、調べ学習</li> <li>自己評価する</li> <li>深い探求に結びつく活用の授業を重視</li> <li>【数学】</li> <li>式が何を表しているかを考える</li> <li>なぜ答えがそうなるかを考える</li> <li>考え方を何人かで相談し、説明する</li> <li>考えたことをレポートにまとめる機会を多く設ける</li> <li>相互評価することで、生徒同士が互いに高めあうようにする</li> <li>【理科】</li> <li>実験の結果を班で話し合い発表する</li> <li>活用の展開：知識や技能を活用する学習活動やパフォーマンス課題を導入する</li> <li>振り返り：自己評価表(ポートフォリオ評価)を導入する</li> <li>【音楽】</li> <li>自ら感じたことや自分なりに解釈したことを基に話し合い、他者の感じ方や解釈も参考にして、より深く音楽を鑑賞する</li> <li>【美術】</li> <li>論じ合い、感受性を高める鑑賞活動</li> <li>【技術・家庭】</li> <li>他者の発表を聞き、自分の考えと比較して、見直し思考を深める</li> <li>技術科：(個→集団→個)の学習活動の流れにより、「工夫し創造」や「読解力」を育成する</li> <li>家庭科：情緒・完成を磨く言語活動</li> <li>【保健体育】</li> <li>計画表を作成する</li> <li>演技(動き)を言葉で表現しレポートを作成する</li> <li>自己評価⇄相互評価</li> <li>発表(説明)→振り返り</li> <li>【英語】</li> <li>学習した表現や文法を使い、テーマに沿った自分の考えを英語で発表する</li> <li>英文を読むことによって、異文化に関する理解を深める</li> <li>自己評価・相互評価の導入</li> </ul>
期待される成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉に対する感覚を養い、状況に応じた適切な言葉の表現を使うことができるようになる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分なりの考えを書くようになってきた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友だちの文章の中から学んだ言葉を探したり、接続詞の多用が減ってきて、適切な接続詞も増えてきた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>書く意欲が高まり、自分の考えを整理し、深めることにつながっている</li> <li>事実(学習内容)と自分の考えを分けて、わかりやすく書けるようになった</li> <li>理由を付けて自分の考えを書けるようになった</li> <li>抽象的な内容ではなく、具体的に書けるようになってきた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章や図表、現象などを理解・評価しながら捉える力や自分の考えをまとめる力を育成する</li> <li>自分なりに課題を発見、自らの課題を解決していく態度と能力を育成する</li> </ul>

## 国語力向上のための 「古江台中学校ブロック」スタンダード

国語力の向上につい長瑠用に全教科・全領域において目標と場面を設定し実践していく  
個々にとりくんだ実践は、全教職員で共有し検証・発展させていく。

### 1. 読む力の育成

- ・ 選定された古中ブロック100冊の本を9年間で読ませる。

### 2. 聞く力の育成

- ・ 相手の話をよく聞いてから、自分が話をするようにするなど会話のマナーを身につけさせる。(『議論のルール』を別に定める。)
- ・ 教師はていねいな言葉使いをする。

### 3. 話す力の育成

- ・ 授業や生活の中で、単語ではなく文章で話しをさせる。
- ・ どの児童・生徒にも発表の機会を与える。
- ・ 教師や保護者は子どもの話をよく聞くようにつとめる。

### 4. 書く力の育成

- ・ 読み手にわかりやすい文章を書かせる。
- ・ 日記、班ノートなどの日常的に書く機会を与える。
- ・ 授業の中で、シンキングツールやワークシートを用いて文章を書く工夫をさせる。
- ・ 教師は子どもの作文にはコメントをつけて、書く意欲をもたせる。

### 5. 漢字力の育成

- ・ 指導法の工夫と改善をすることで、漢字力の定着をはかる。

## 『議論のルール』

低学年

- ①話を聞くときは、話しをしている人の方を見る。
- ②話を聞くときは、最後まできちんと聞く。

中学年

- ①分からないことがあったら、すぐに質問する。
- ②話を聞くときは、話している人の方を見る。
- ③話を聞くときは、他のことをしない。
- ④最後まで、きちんと話を聞く。
- ⑤どのような意見であっても間違いと決めつけない。

高学年

- ①他人の発言をさえぎらない。
- ②話す時は、だらだらとしゃべらない。
- ③話す時に、おこつたりないたりしない。
- ④分からないことがあったら、すぐに質問する。
- ⑤話を聞く時は、話している人の方を見る。
- ⑥話を聞く時は、他のことをしない。
- ⑦最後まで、きちんと話を聞く。
- ⑧議論がだいなしになるようなことを言わない。
- ⑨どのような意見であっても、間違いと決めつけない。
- ⑩議論が終わったら、議論の内容の話はしない。

中学生

- ①話す内容を整理して（メモをとるなど）から話す。
- ②建設的、協調的な発言をこころがける。
- ③誰でもが自由に発言できる雰囲気をつくる。

## 児童・生徒指導連携部会

- 平成27年6月11日（木）、7月6日（月） 児童・生徒指導交流会  
今年度4月に両小学校から進学した中学1年生の様子について、情報交換をしました。
- 平成28年3月23日（水） 児童・生徒指導連絡会  
小学校6年担任より、中学校へ進学する児童についての情報を伝えました。

基本的な学校生活習慣として「ABC運動」を指導しています。

### ABC運動

- |   |      |                 |
|---|------|-----------------|
| A | あいさつ | （コミュニケーションの第一歩） |
| B | ベル着  | （時間を守る）         |
| C | クリーン | （学習できる環境づくり）    |

教師が大切にしなければならぬもの・大切にしていきたいこととして、「授業規律の教師心構え9ヶ条」を推進しています。

### 授業規律の教師心構え9ヶ条

- |   |                     |
|---|---------------------|
| ① | チャイム着席の指導           |
| ② | 授業の始めと終わりの「けじめ」をつける |
| ③ | 机の整理整頓の指導           |
| ④ | 名前を呼んだときの返事の励行      |
| ⑤ | 勝手に立ち歩かせない          |
| ⑥ | 意見があるときは手を挙げて発言させる  |
| ⑦ | 忘れ物をしない指導           |
| ⑧ | 正しい言葉遣いの指導          |
| ⑨ | 使用した物の後片付けの指導       |

# 古中フロック100冊の本 No. ①

(平成20～25年度)

## 小学校版 60冊

小学校 (低学年)		小学校 (中学年)		小学校 (高学年)	
書名	著者名	書名	著者名	書名	著者名
1 14ひきのシリーズ	いわむらかずお	1 二ちょうめのおぼけやしき	木暮正夫	1 アンネの日記	アンネ・フランク
2 あかちゃんてね	星川ひろ子	2 大どろぼうおツエブ ロツ	ワットリート・ポロイスター	2 ガラスのうさぎ	高木敏子
3 エルマの冒険	ルス・スタイルス・ガネット	3 おしいれのぼうけん	古田足日	3 消えた国旗	斉藤尚子
4 王さまと九人のきょうだい	中国民話	4 かいぞくポケットシリーズ	寺村輝夫	4 木を植えた男	ジャン・ジオノ
5 おさるはおさる	いとうひろし	5 かわいそうなぞう	土家由岐雄	5 銀河鉄道の夜	宮沢賢治
6 おれはテイラノザウルスだシリーズ	宮西達也	6 霧のむこうのふしぎな町	柏葉幸子	6 銀のほのおの国	神沢利子
7 からすのパンやさん	かこさとし	7 くまのパデイントン	マイケル・ホルト	7 五体不満足	乙武洋匡
8 くまの子ウーフシリーズ	神沢利子	8 車のいろは空のいろ	あまんきみこ	8 西遊記	渡辺仙州
9 ぐりとぐらシリーズ	中川李枝子	9 こそあどの森シリーズ	岡田淳	9 三国志 1～5巻	三田村信行
10 ごんぎつね	新美南吉	10 シートン動物記		10 砂のゲーム	ウーリー・オルレブ
11 さっちゃんのまほうのて	田畑精一	11 せかいいちうつくしいぼくの村	小林豊	11 精霊の守り人	上橋菜穂子
12 すてきな三人ぐみ	トミー・アンゲラー	12 ちいさいおうち	バージニア・パートン	12 世界がもし100人の村だったら	池田香代子
13 ちからたろう	いまえよしもと	13 ちいさなスプーンおばさん	アルフ・プロイセン	13 チョコレート工場の秘密	ロアルド・ダール
14 とべバツタ	田島征三	14 ちびっこカムのぼうけん	神沢利子	14 ナルニア国物語シリーズ	C・S・Lewis
15 ともだちや	内田麟太郎	15 とべないホテル	小沢昭巳	15 二分間の冒険	岡田淳
16 にじいろのさかな	マークス・フィスター	16 ふしぎなかぎばあさん	手島悠助	16 葉っぱのフレディ	レオ・バスカリア
17 はらぺこあおむし	エリック・カール	17 目をさませトラゴロウ	小沢昭巳	17 走れメロス	太宰治
18 ひろしまのピカ	丸木俊	18 ももいろのきりん	中川李枝子	18 ヘレンケラー	
19 ぼくは王さまシリーズ	寺村輝夫	19 やかまし村の子どもたち	アストリッド・リンドグレーン	19 モモ	ミヒヤエル・エンデ
20 モチモチの木	斎藤隆介	20 わたしたちのトビアス	セリア・スバドベリ編	20 ユンボギの日記	

## 中学校版 40冊

書名	著者名	書名	著者名	書名	著者名
1 のはらのうた (シリーズ)	工藤 直子	15 そんな友だちなら、いなくたっていいじゃないか	齋藤 孝	29 ハムレット、ロミオとジュリエット、など (シリーズ)	シェイクスピア
2 茨木のり子詩集	茨木のり子	16 モンテ クリスト伯	アレクサンドル・デュマ	30 宝島	スチブンソン
3 にんげんだもの	相田みつを	17 いま生きているという冒険	石川 直樹	31 長靴下のピッピー	リンドグレーン
4 坊ちゃん、三四郎、こころ、我が輩は猫であるなど	夏目 漱石	18 リュパン対ホームズ	モーリス・ルブラン	32 クリスマスキャロル	ディケンズ
5 杜子春、蜘蛛の糸、など	芥川龍之介	19 ぼくは勉強ができない	山田 詠美	33 星座を見つけよう	HALI
6 幸福な食卓	瀬尾まいこ	20 星の王子さま	サンテグジュペリ	34 スノーピーはふつうの犬じゃない	シュルツ
7 二十四の瞳	壺井 栄	21 カモメに飛ぶことを教えた猫	河野万里子	35 龍馬がゆく、項羽と劉邦、など (シリーズ)	司馬遼太郎
8 しろばんば	井上 靖	22 もしも月がなかったら	ニール・F・カミングス	36 ぼくらはガリレオ	板倉聖宣
9 伊豆の踊子	川端 康成	23 大地	パールバック	37 数の悪魔：算数・数学が楽しくなる12夜	エンツェンスベルガー
10 夜のピクニック	恩田 陸	24 大地の子	山崎豊子	38 君の可能性	齋藤喜博
11 キッチン	吉本ばなな	25 赤毛のアン、など	モンゴメリ	39 君たちはどう生きるか	吉野源三郎
12 夏の庭	湯本香樹美	26 十五少年漂流記、など	ヘルヌ	40 生きることの意味	高史明
13 ポッコちゃん	星 新一	27 若草物語	オールcott		
14 サラダ記念日	俵 万智	28 エミールと探偵たち	ケストナー		

# 古中フロック100冊の本 No. ②

(平成26年度～)

## 小学校版 60冊

小学校 (低学年)		小学校 (中学年)		小学校 (高学年)	
書名	著者名	書名	著者名	書名	著者名
1 王様と九人のきょうだい	君島 久子 再話	1 大どろぼうホッツエンプロッツ	オットフリート・プロイスラー	1 アンネの日記	アンネ・フランク
2 おれはティラノサウルスだシリーズ	宮西 達也	2 ちいさいおうち	バージニア・パートン	2 五体不満足	乙武 洋匡
3 ともだちや	内田 麟太郎	3 ちいさなスプーンおばさん	アルフ・ブリョイセン	3 二分間の冒険	岡田 淳
4 にじいろのさかな	マーカス・フィスター	4 エルマーの冒険	ルース・スタイルス・ガネット	4 葉っぱのフレディ	レオ・バスカーリア
5 ふたりはともだちシリーズ	アーノルド・ローベル	5 びりっかすの神さま	岡田 淳	5 走れメロス	太宰 治
6 いいからいいから	長谷川 義史	6 龍の子太郎	松谷 みよ子	6 モモ	ミヒヤエル・エンデ
7 すてきな三人ぐみ	トミー・アングラー	7 ルドフルとイッパイアッテナ シリーズ	斎藤 洋	7 きまぐれロボット	星 新一
8 あらしのよるに	木村 裕一	8 モチモチの木	斎藤 隆介	8 ぼくらの七日間戦争	宗田 理
9 れいぞうこのなつやすみシリーズ	村上 しいこ	9 名探偵シリーズ	杉山 亮	9 世界がもし100人の村だったら	池田 香代子
10 おこだでませんように	くすのき しげのり	10 もったいないばあさんと考えよう 世界のこと	真珠 まりこ	10 100万回生きたねこ	佐野 洋子
11 ひろしまのピカ	丸木 俊	11 菜の子先生がやってきた	富安 陽子	11 すみれ島	今西 祐行
12 あのときすきになったよ	薫 くみこ	12 ムジナ探偵局シリーズ	富安 陽子	12 わすれられないおくりもの	スーザン・パーレイ
13 平和ってどんなこと?	浜田 桂子	13 蜘蛛の糸	芥川 龍之介	13 銀河鉄道の夜	宮沢 賢治
14 てぶくろをかいに	新美 南吉	14 大きな森の小さな家	ローラ・インガルス	14 ストライプ	ディヴィッド・シャノン
15 としょかんライオン	ミシェル・ヌードセン	15 車のいろは空のいろ	あまん きみこ	15 チョコレート工場の秘密	ロアルド・ダール
16 うしはどこでもモー	エレン・ワインスティーン	16 ふしぎなかぎばあさん	手島 悠介	16 ナルニア国物語	C・Sルイス
17 スイミー	レオ・レオニ	17 ロバのシルベスターとまほうの小石	ウィリアム・スタイグ	17 ヘレンケラー	
18 わたしはあかねこ	サトシン	18 わたしのいもうと	松谷 みよ子	18 合言葉はフリンドル!	アンドリュー・クレメンツ
19 ええところ	くすのき しげのり	19 こぎつねコンとこだぬきポン	松野 正子	19 宇宙をみたよ!	毛利 衛
20 へんてこもりのなまえもんシリーズ	たかどの ほうこ	20 はれときどきぶた シリーズ	矢玉 四郎	20 トイレのおかげ	森枝 雄司

## 中学校版 40冊

書名	著者名	書名	著者名	書名	著者名
1 西の魔女が死んだ	梨木 香歩	15 シャーロック・ホームズの冒険	コナン・ドイル	29 星座を見つけよう	H A レイ
2 のはらうた (シリーズ)	工藤 直子	16 下町ロケット	池井戸 潤	30 風が強く吹いている	三浦 しをん
3 茨木のり子詩集	茨木 のり子	17 少年H	妹尾 河童	31 もしも月がなかったら	ニール F カミングズ
4 永遠の0	百田 尚樹	18 クリスマスキャロル	ディケンズ	32 数の悪魔	エンツェンスベルガー
5 大地	パールバック	19 竜馬がゆく、項羽と劉邦	司馬 遼太郎	33 ぼくらはガリレオ	板倉 聖宣
6 大地の子	山崎 豊子	20 十五少年漂流記	ベルヌ	34 14歳からの哲学、14歳の君へ	池田 晶子
7 夏の庭	湯本 香樹美	21 君たちはどう生きるか	吉野 源三郎	35 潮騒	三島 由紀夫
8 人間失格	太宰 治	22 ハムレット、ロミオとジュリエット	シェイクスピア	36 容疑者Xの献身、放課後	東野 圭吾
9 カラフル、リズム、DIVE!!	森 絵都	23 山月記、李陵	中島 敦	37 海辺のカフカ	村上 春樹
10 坊っちゃん、三四郎、こころ、我が輩は猫である	夏目 漱石	24 宝島	スタンソン	38 にんげんだもの	相田 みつを
11 サラダ記念日	俵 万智	25 カモメに飛ぶことを教えた猫	ルイス セプ ルバダ	39 父の詫び状	向田 邦子
12 十字架、君の友だち	重松 清	26 アルジャーノンに花束を	ダニエル キイス	40 星の王子さま	サン テグ ジュベリ
13 杜子春、蜘蛛の糸	芥川 龍之介	27 風が吹くとき	レイモンド プリッグス		
14 モンテクリスト伯	アレクサンドル デュマ	28 夜のピクニック	恩田 陸		

**編集**

**古江台中学校区幼小中連携推進委員会**